

令和4年度 事業計画書

公益財団法人札幌市芸術文化財団

令和4年度 事業計画書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

<趣 旨>

当財団は札幌市の指定管理者として、札幌芸術の森、本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌コンサートホール、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、札幌市民交流プラザの市内6施設を管理運営しておりますが、令和4年度は札幌市民交流プラザを除いた5施設において、第4期指定管理の最終年にあたることから、指定管理業務の集大成として、各種事業の実施を図っていきます。

また、令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた芸術文化の振興に取り組み、多様な施設の特性を生かした多彩な事業を展開します。

令和4年度に実施する主な事業として、芸術の森では、「サッポロ・シティ・ジャズ」をはじめ、育成プログラムの「ジュニアジャズスクール」、「バレエセミナー」の実施、「PIXAR のひみつ展」、「銀の匙 Silver Spoon展」などの展覧会及びクラフト講習会を開催します。開館25周年を迎えるコンサートホールKitaraでは、ロンドン交響楽団など、世界的なオーケストラによる演奏会を実施するほか、子どもや青少年の感性を育む事業を推進します。教育文化会館は、令和5年1月から改修工事のため全館休館を予定しておりますが、事業の繰上げ実施を図り、ほぼ例年同様、能楽や人形浄瑠璃文楽の公演、若年層向けワークショップなどを実施します。市民交流プラザでは、hitaruを舞台に地元のオペラ団体やスタッフとともにオペラ作品を創造する「hitaruオペラプロジェクト」の第1回公演を開催し、SCARTSではクリエイションをテーマにアートセンターとしての特徴を活かしたプロジェクトを実施するなど、芸術文化活動の拠点にふさわしい多様な事業を推進します。

今後とも、当財団が長年築いてきた指定管理者としての実績をもとに、財団の総合力を最大限に発揮し、札幌からの新しい芸術文化の創造と発信に寄与します。

<運営に当たっての基本方針>

1 財団の専門性と総合力を生かした施設運営と魅力的な事業の推進

財団が管理運営を行う各施設間で密接な連携を図りながら、多様な人材を有する財団の組織力や長年培ってきた専門性、幅広いネットワークを効果的に活用することで総合力を発揮し、利用者満足度の高い施設運営を行うとともに、多彩な芸術文化の提供や魅力的で芸術性の高い事業を展開します。

2 芸術文化体験の充実による次世代の人材育成

質の高い様々な舞台芸術や美術の体験機会をさらに充実させることにより、札幌の子どもたちの感性を醸成し、人間性豊かな心を育むことで、将来の愛好者やアーティスト等、次世代を担う人材の育成に寄与します。

3 芸術文化の拠点として人々の交流促進やまちづくりに貢献

芸術関係団体をはじめ、市民や企業、大学等との「共創」を推進する拠点として、また、芸術文化に関わる多様な人々をつなぐ場として、芸術文化活動の活性化や創造性の向上を図るとともに、情報や人材の交流を促進し、札幌の観光や産業の発展を視野に入れたまちづくりに貢献します。

令和4年度事業一覧表

〈芸術文化の創造発信と普及振興事業〉	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
I 芸術の森事業部				
1 音楽・舞台芸術事業				
(1) 札幌の文化芸術発信事業				
① サッポロ・シティ・ジャズ 2022	通年 令和4年8月28日		○	
② ノースジャムセッション				
(2) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業				
① 第23期札幌ジュニアジャズスクール	通年 令和4年8月3日 ～7日			
② 札幌芸術の森バレエセミナー	令和4年5月 ～令和5年1月			
③ ユースジャムセッション				
(3) 文化芸術を通じた市民活動の促進				
① パークジャズライブ	令和4年7月16日 ～18日			
② 芸森アートマーケット	令和4年4月 ～11月			
(4) 質の高い文化芸術の創造・提供				
① ビックバンドプロジェクト	通年			
(5) 各種団体との連携による文化芸術の振興				
① 各種団体共催・施設利用促進事業	通年			
2 札幌芸術の森美術館事業				
(1) 展覧会事業				
① PIXAR のひみつ展 いのちを生みだすサイエンス	令和4年4月19日 ～6月28日			○
② 銀の匙 Silver Spoon 展	令和4年7月16日 ～9月11日			○
③ 北海道の建築（仮称）	令和4年9月23日 ～10月10日			○
④ 北海道陶芸展50周年・北海道シニア陶芸展40周年記念事業 北海道陶芸の変遷vol.2・現代陶芸の今	令和4年10月22日 ～11月6日			○
⑤ 野田弘志 真理のリアリズム	令和4年11月19日 ～令和5年1月15日			○
⑥ 札幌美術展 昨日の名残 明日の気配	令和5年1月28日 ～3月12日			
⑦ 札幌芸術の森美術館コレクション選	令和4年11月19日 ～令和5年1月15日 令和5年1月28日 ～3月12日			
(2) 野外美術館				
① ボランティアによる作品解説	令和4年4月29日 ～11月3日			
② 鑑賞アプリ・グッズの運用	通年			
(3) 教育普及事業				
① 佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ	} 通年			
② 子どもの文化芸術体験事業「ハロー!ミュージアム」				
(4) 利用促進				
① オリジナルグッズの製作・販売	通年			
(5) 人材育成				
① ボランティア及び美術館協力員	通年			
② 博物館実習	令和4年10月25日 ～28日、31日、 11月1日			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(6) 保管・整理 ① 作品の保存及び管理 ② 資料整理	} 通年			
3 工芸・工房事業				
(1) 展覧会事業 ① 第22期工芸館常設展示事業 ② 第28回芸術の森地区文化祭	令和4年7月16日 ～令和5年3月26日 令和4年11月			
(2) 普及事業 ① 工芸・版画講習会事業	通年			
(3) 連携事業 ① 市内小学校、各種事業体、市内文化施設との連携	通年			
4 芸術の森利用促進				
(1) 広報活動 ① ホームページ、SNS の活用 ② 総合案内パンフレットや集客チラシの製作、配布 ③ マスコミへの情報提供、誘致活動	} 通年			
(2) 地域連携 ① 芸術の森地区連合町内会 ② 札幌市立大学ほか教育機関	通年 通年			
(3) 四季を通じた誘客促進事業 ① 野外美術館謎解きイベント ② 芸森スプリングフェスタ ③ 芸森バースデー ④ あしたのげいもり ⑤ 芸森かんじきウォーク ⑥ 雪あかりの祭典	令和4年7月22日 ～11月3日 令和4年4月下旬 ～5月上旬 令和4年7月23日 ～24日 令和4年9月 令和5年1月上旬 ～3月上旬 令和5年2月			
5 彫刻美術館事業				
(1) 展覧会事業 ① 本郷新・全部展④ 100の石膏像／記念館 ② 本郷新の言説／記念館 ③ はじめてのほんごうしん／本館 ④ 生誕100年 藤川叢三展／本館 ⑤ 建築家 上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ／本館 ⑥ New Eyes 視線のはなし／本館 ⑦ さっぼろ雪像彫刻展2023／本館前庭	令和3年4月29日 ～令和4年5月31日 令和4年6月11日 ～令和5年4月16日 令和4年1月28日 ～5月31日 令和4年6月11日 ～8月31日 令和4年9月10日 ～12月11日 令和4年12月23日 ～令和5年4月16日 令和5年1月27日 ～29日			○ ○
(2) 本郷新記念札幌彫刻賞 ① 第4回本郷新記念札幌彫刻賞 募集 ② 第4回本郷新記念札幌彫刻賞 第一次選考（入選作決定）	令和4年10月 ～令和5年1月 令和5年2月			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(3) 普及事業 ①子どもの文化芸術体験事業「ハロー!ミュージアム」 ②彫美連続講座 ③造形教室 ④ナイトミュージアム (4) 協力事業 ①学校教育への協力 ②博物館実習の受け入れ ③ボランティアの受け入れ (5) 連携事業 ①地域・企業との連携 (6) 広報活動 ①ホームページ、SNSの活用 ②地域住民への情報提供 (7) 利用促進事業 ①サンクスデー ②図書・情報コーナー ③グッズ販売	通年 年3回 夏休み、冬休み 令和4年7月15日 通年 随時 通年 随時 }通年 令和4年6月26日 11月3日 通年 通年			
II コンサートホール事業部				
1 音楽鑑賞事業				
(1) オーケストラシリーズ <Kitaraワールドオーケストラシリーズ> ①サー・サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団 ②ファビオ・ピオンディ & エウローパ・ガランテ ③山田和樹指揮 横浜シンフォニエッタ (2) ソリストシリーズ<Kitaraワールドソリストシリーズ> ①森麻季 & グザヴィエ・ドゥ・メストレ デュオ・リサイタル ②サー・アンドラーシュ・シフ ピアノリサイタル ③庄司紗矢香 & ジャンルカ・カシオーリ デュオ・リサイタル ④<第25回ソリスト音楽院セミナー>講師による特別コンサート (3) 室内楽シリーズ ①ダネル弦楽四重奏団 ②<ハンガリーの俊英たち> ゲルゲイ・デヴィッチ チェロリサイタル	令和4年10月3日 令和4年11月2日 令和5年3月17日 令和4年9月18日 令和4年10月29日 令和4年12月4日 令和5年2月22日 令和4年6月4日 ~5日 令和5年2月18日			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 音楽普及事業				
(1) オルガン事業 ①オルガンワンコインコンサート 1) オルガンウインターコンサート ②オルガンコンサートシリーズ 1) <Kitaraあ・ら・かると>ニコラさんのオルガンコンサート 2) <札幌コンサートホール開館25周年>Kitaraのバースデー 3) 第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト ニコラ・プロカッチーニ フェアウェルオルガンリサイタル 4) 第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル 5) クリスマスオルガンコンサート 6) オルガンCD制作 (2) 札幌オーケストラシリーズ ①<Kitara あ・ら・かると>きがるにオーケストラ ② Kitara のクリスマス ③ Kitara のニューイヤー	令和5年2月11日 令和4年5月5日 令和4年7月2日 令和4年8月20日 令和4年10月8日 令和4年12月17日 令和5年3月 令和4年5月3日 令和4年12月24日 令和5年1月14日			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
<p>(3) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ</p> <p>①<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業>若い芽の音楽会 ②令和4年度Kitaraアーティスト・サポートプログラムI、II</p> <p>③<Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト>札幌の奏響(ひびき)Ⅲ</p> <p>(4) Kitaraアフタヌーンコンサート</p> <p>①そよ風のバロック～ヴァイオリン&チェンバロの音色にのせて～ ②びわ湖ホール声楽アンサンブル～美しい日本の歌 ③野平一郎レクチャーコンサート ④東京六人組</p> <p>(5) ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると</p> <p>①きがるにオーケストラ(再掲) ②スプリング・プラス～中学生スペシャル! ③ニコラさんのオルガンコンサート(再掲) ④<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業>若い芽の音楽会(再掲) ⑤3歳からのコンサート</p> <p>(6) 障がいのある方向け文化芸術体験事業</p> <p>①障がいのある方向け音楽ワークショップ</p> <p>(7) 利用促進事業</p> <p>①音楽の絵本 with パイプオルガン</p> <p>(8) その他</p> <p>①演奏会付き防災訓練 ②札幌コンサートホール施設見学会 ③ゆきあかり in 中島公園</p>	<p>令和4年5月4日 令和5年1月25日 令和5年3月15日 令和5年3月11日</p> <p>令和4年6月12日 令和4年8月13日 令和4年9月23日 令和4年11月12日</p> <p>令和4年5月3日 令和4年5月4日 令和4年5月5日 令和4年5月4日 令和4年5月3日 ～5日</p> <p>日程調整中</p> <p>令和4年11月23日</p> <p>令和5年1月23日 令和4年4月 ～令和5年3月 令和5年2月</p>			<p>○ ○ ○ ○</p> <p>○</p> <p>○</p>
3 教育・人材育成事業				
<p>(1) エデュケーションプログラム</p> <p>①Kitaraあ・ら・かると</p> <p>1)きがるにオーケストラ(再掲) 2)スプリング・プラス～中学生スペシャル!(再掲) 3)ニコラさんのオルガンコンサート(再掲) 4)<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業>若い芽の音楽会(再掲) 5)3歳からのコンサート(再掲)</p> <p>②Kitaraファースト・コンサート</p> <p>③ひろがる!つたわる!オルガンのひびき</p> <p>(2) アウトリーチ事業</p> <p>①<他事業部連携事業>専属オルガニストによる市民ギャラリートコンサート ②専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ(市内小学校)</p> <p>(3) セミナー事業</p> <p>①オルガンセミナー</p> <p>1)パイプオルガン特別講義</p> <p>②第25回リスト音楽院セミナー</p> <p>1)<ハンガリーの俊英たち>ゲルゲイ・デヴィッチ チェロリサイタル(再掲) 2)講師による特別コンサート(再掲) 3)歴代最優秀受講生によるランチタイムコンサート 4)特別レクチャー&公開レッスン 5)受講生コンサート</p>	<p>令和4年5月3日 令和4年5月4日 令和4年5月5日 令和4年5月4日 令和4年5月3日 ～5日</p> <p>令和4年10月13日 ～14日 令和4年10月25日 ～28日 令和5年1月28日</p> <p>令和4年4月16日 令和4年4月 ～令和5年3月</p> <p>令和4年5月 ～6月</p> <p>令和5年2月22日 ～27日</p> <p>令和5年2月18日 令和5年2月22日 令和5年2月24日 令和5年2月25日 令和5年2月26日</p>			<p>○</p> <p>○</p>

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(4) 地元音楽大学等との連携事業 ①<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業>若い芽の音楽会(再掲) ②パイプオルガン特別講義(再掲) ③ひろがる!つたわる!オルガンのひびき(再掲) ④<第25回リスト音楽院セミナー>特別レクチャー&公開レッスン(再掲) (5) PMF共催事業	令和4年5月4日 令和4年5月 ~6月 令和5年1月28日 令和5年2月25日 令和4年7月			
4 全国ホールとのネットワーク事業				
(1) ホール・他都市連携事業 ①<Kitaraアフタヌーンコンサート>びわ湖ホール声楽アンサンブル~美しい日本の歌(再掲) ②<Kitaraアフタヌーンコンサート>東京六人組(再掲) (2) 札幌コンサートホールが招へいする音楽家を広く他都市に紹介する ①専属オルガニストによる公演 1)国際基督教大学オルガン演奏会(東京) 2)サントリーホール オルガンプロムナードコンサート(東京) 3)ザ・シンフォニーホール オール・バツハ名曲選 真夏のオルガンコンサート(大阪) ②ダネル弦楽四重奏団 1)アクロス福岡公演(福岡) 2)びわ湖ホール公演(滋賀) (3) 国内ホールとの情報交換 ①コンサートホール企画連絡会議(道外)	令和4年8月13日 令和4年11月12日 令和4年4月9日 令和4年7月7日 令和4年7月30日 令和4年6月7日 令和4年6月10日 令和4年7月 令和5年2月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○
5 PR活動の充実				
(1) 広報活動 ①公演情報誌「KitaraNEWS」の発行 ②ホームページ、Twitter、Instagram、アプリなどのソーシャルメディアや、 テレビ、ラジオ等のマスメディアによる情報提供 ③音楽専門誌、タウン情報誌、フリーペーパー等への広告掲載 ④地下鉄駅構内電照広告の掲出 ⑤公共交通機関や通行量が多い公共空間(地下歩行空間等)への広告掲出 ⑥ホールスポンサーの獲得 ⑦Kitaraギャラリーでのホール資料や収蔵品展示によるホールの魅力紹介 ⑧観光客の誘致、旅行・タクシー会社、ホテルとの連携強化 ⑨オリジナルグッズの販売 ⑩各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連共済センター、札幌商工会議所 ほか) ⑪全国音楽ホール、音楽事務所、札幌市内公共施設、地下鉄主要駅、ホテル、 病院、飲食店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付 ⑫チケット販売促進、広報の強化	通年			
6 チケット等販売事業				
7 Kitaraボランティアとの連携				
(1) ホール見学案内 (2) Kitaraギャラリー運営補助 (3) 主催事業補助(リスト音楽院セミナー ほか) (4) 専属オルガニストサポート(日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等) (5) 音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行	通年			
Ⅲ 教育文化会館事業部				
1 芸術文化を創造し、発信する事業				
(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供 ①能楽なう ②人形浄瑠璃文楽	令和4年7月20日 令和4年10月3日			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(2) 札幌の舞台芸術の創造・発表事業 ①教文演劇フェスティバル2022 ②教文オペラ (3)文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業 ①能楽鑑賞のひとつき ②人形浄瑠璃 2022 さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座公演	令和4年9月17日 ~18日 令和4年5月 ~11月 令和4年4月29日 令和4年8月27日 ~28日			
2 芸術文化の普及振興、育成・支援を行う事業				
(1)子どもたちのための文化芸術活動の支援事業 ①子ども演劇ワークショップ ②小・中学生のための能楽入門 ③夏休み子ども体験新喜劇 ④子どものためのオペレッタワークショップ (2)市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業 ①教文13丁目笑劇一座 ②高橋竜太ダンスワークショップDAYs in Sapporo ③子ども演劇ワークショップ（再掲） (3)学校教育に係る文化芸術活動の支援事業 ①第39回札幌市小学校児童音楽祭 ②第74回札幌市中学校音楽会 ③第68回高文連石狩支部演奏会 ④中文連演劇ワークショップ2022 ⑤第37回札幌市中文連演劇発表会 ⑥第72回高文連石狩支部高校演劇発表大会 ⑦第17回北海道中学生演劇発表大会 (4)将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業 ①公立文化施設等とのネットワーク ②実業家など専門家との交流やメディアの活用 ③アンケートの実施	令和4年8月 ~11月20日 令和4年7月30日 ~31日 令和4年8月5日 ~7日 令和4年5月 ~8月20日 通年 令和4年5月4日 ~5日 令和4年12月10日 令和4年10月23日 令和4年6月23日 ~24日 令和4年5月14日 令和4年8月1日 ~4日 令和4年10月2日 ~10日 令和4年11月26日 ~27日 } 通年			
3 札幌市民芸術祭				
①札幌市民劇場 ②マンドリン音楽祭 ③ギター音楽祭 ④市民合唱祭 ⑤さっぽろ市民文芸 ⑥新人音楽会 ⑦邦楽演奏会 ⑧市民美術・書道展 ⑨札幌市民吹奏楽祭	通年 令和4年5月29日 令和4年9月4日 令和4年10月15日 ~16日 令和4年10月下旬 令和4年11月3日 令和4年11月13日 令和4年10月19日 ~23日 令和5年1月21日 ~22日			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
⑩市民写真展	令和5年2月18日 ～23日			
4 広報活動				
広報活動 ①ホームページ活用による広報 ②情報誌の編集、発行 ③メディアを通じた情報提供及び広告等 ④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による広報及び販売促進 ⑤案内、プレイガイド、物販 ⑥教文☆ナビ	} 通年 年2回	○	○	
5 市民ギャラリー事業				
①市民ギャラリー美術映画会 ②オルガンコンサート ③市民ギャラリー手づくり作品市場 ④市民ギャラリーワークショップ ⑤カルチャーナイト2022 ⑥教文13丁目笑劇一座出張公演 ⑦市民ギャラリー子ども映画会 ⑧市民ギャラリーオータムコンサート ⑨札幌市中学校美術・書道展 ⑩中央区東地区連合町内会コンサート ⑪札幌圏大学生合同写真展	年8回 令和4年4月16日 令和4年5月14日 年3回 令和4年7月22日 調整中 年2回 令和4年10月22日 令和4年10月25日 ～30日 調整中 令和5年3月			○
IV 市民交流プラザ事業部				
1 札幌文化芸術劇場に関する事業				
(1)創造事業				
① hitaru オペラプロジェクト モーツァルト『フィガロの結婚』	令和5年2月26日 28日			○
② hitaru バレエプロジェクト（準備）	通年			
③ Creative Art Mix ～ Re:born ～	令和5年3月11日 ～12日			
(2)鑑賞事業				
①山海塾「降りくるものなかで -とばり」	令和4年9月24日			○
② K バレエ カンパニー	令和4年11月7日			
③ hitaruのひととき				
1) 魅惑のミュージカルナイト -姿月あさと 35th Anniversary Festival-	令和4年5月18日			
2) 尾高忠明 presents 偉大なる英国の巨匠たち	令和4年6月18日			
3) 声優朗読劇VORLESEN～フィガロの結婚～ hitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』関連事業	令和4年11月20日			
④共催事業の誘致				
1) 第3回さっぽろ落語まつり	令和4年5月27日 ～29日			
2) 舞台「千と千尋の神隠し」	令和4年6月6日 ～12日			○
3) ミュージカル「ミス・サイゴン」	令和4年10月7日 ～10日			
4) 海外歌手コンサート（調整中）	令和4年10月11日			○
5) 2022 HTB ジルバスターコンサート	令和4年12月31日			○
(3)普及・育成事業				
①青少年向けバレエ鑑賞事業	令和4年7月1日			
② hitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』関連事業 演出家 三浦安浩トークイベント	調整中			○
③札幌大谷大学アートプログラム	調整中			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
④クリエイティブスタジオ活用事業 1) クリエイティブスタジオ シネマシリーズ4 2) 村川拓也「ムーンライト」 3) hitaru劇評入門 4) 劇団た組 5) 踊り継がれるコンテンポラリーダンスの名作を踊ろう／Rosas 「Violin Phase」 (4) 交流事業 ① プラザフェスティバル	令和4年4月23日 令和4年5月28日 ~29日 令和4年5月30日 令和4年9月25日 令和4年10月22日 ~23日 調整中 令和4年10月7日 ~10日			○ ○ ○ ○
2 札幌文化芸術交流センターに関する事業				
(1) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業 ① SCARTS クリエイションプロジェクト (仮称) ② SCARTS メディアアーツシリーズ (仮称) ③ SCARTS 連携事業 (仮称) ④ SCARTS パブリックリレーションズ (仮称) (2) 文化芸術活動支援事業 ① SCARTS サポート事業 (仮称) (3) 文化芸術に関する調査研究事業 (2)①において実施	調整中 通年 通年 通年 通年			○ ○ ○ ○
3 広報・利用促進に関する事業				
(1) 広報 ① 広報誌作成と事業広報との連携強化 ② ホームページ、SNS などを活用した広報 ③ メディア対応とプレスリリース ④ その他の広報制作物 (2) 利用促進 ① 施設利用に関する営業 ② 会員制度の運営 ③ 協賛制度の運営	} 通年 } 通年			

芸術の森事業部 令和4年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽・舞台芸術事業	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)サポ・ポロ・シテイ・ジャズ2022 ●(通年)第23期札幌ジュニアジャズスクール ●5月～1月 ユースジャムセッション 	<ul style="list-style-type: none"> ●4月～11月 芸森アートマーケット ●(通年)ビッグバンドプロジェクト ●(通年)各種団体共催・施設利用促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●4/19～6/28 PIXARのひみつ展 いのちを生みだすサイエンス 	<ul style="list-style-type: none"> ●7/16～9/11 銀の匙 Silver Spoon展 北海道の建築(仮称) 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/28 ノースジャムセッション ●8/3-7 札幌芸術の森/ハレセミナー ●7/16-18 パークジャズライブ・パークジャズライブコンテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/23～10/10 北海道の建築(仮称) 	<ul style="list-style-type: none"> ●10/22～11/6 北海道陶芸の変遷vol.2:現代陶芸の今 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/19～1/15 野田弘志 真理のリアリズム 札幌芸術の森美術館コレクション選 	<ul style="list-style-type: none"> ●12/1-7 シアタージャズライブ等(hitaru ほか) 			
札幌芸術の森美術館事業												
工芸・工房事業												
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)広報活動 ●(通年)札幌市立大学・芸術の森地区連合会等との地域連携 ●(通年)各団体との事業提携 ●4月下旬～5月上旬 芸森スプリングフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)工芸・版画講習会事業 ●(通年)市内小学校、各種事業体、市内文化施設との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ハロー・ミュージアム ●(通年)ハロー・ミュージアムコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●7/23-24 芸森バースデー ●7/22～11/3 野外美術館認識サイイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ●9月 あしたのげいもり 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月 第22期工芸館常設展示事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●10/25-28,31～11/1 博物館実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ボランティア及び美術館協力員 ●(通年)資料整理 	<ul style="list-style-type: none"> ●11月 第28回芸術の森地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●1月上旬～3月上旬 芸森かんじきウォーク ●2月 雪あかりの祭典 		
彫刻美術館事業	<ul style="list-style-type: none"> ●～5/31 はじめてのほんごうしん ●～5/31 本郷新 全部展④ 	<ul style="list-style-type: none"> ●6/11～8/31 藤川善三展 ●6/11～R5.4/16 本郷新の言説 ●6/26 サンクスデー ●7月 彫美連続講座 ●8月 造形教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●7/15 ナイトミュージアム ●10月～1月 札幌彫刻賞 募集 ●11/3 サンクスデー ●10月 彫美連続講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/10～12/11 建築家 上野野徹と本郷新の宮のアトリエ 	<ul style="list-style-type: none"> ●12/23～R5.4/16 New Eyes 視線のはなし ●1/27-29 さっぽろ雪像彫刻展2023 ●2月 彫美連続講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●1月 造形教室 						
	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ハロー・ミュージアム ●(通年)学校教育への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ボランティアの受け入れ ●(随時)博物館実習の受け入れ 										

コンサートホール事業部 令和4年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽鑑賞事業	オーケストラシリーズ						3 サマー・サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団	2 アパビオ・ピオンディ&エウロー・バガランチ				17 山田和樹指揮 横浜シンフォニーエニエッタ
	ソリストシリーズ					18 森藤季 & グザヴィエ・ド・メストレ デュオ・リサイタル	29 サマー・アンドラ・シム・ジフ ピアノリサイタル		4 庄司紗矢香 & ジャーナルカ・カシオーリ デュオ・リサイタル		22 <第25回>リスト音楽祭・セミナー講師による特別コンサート	
	室内楽シリーズ		4-5 ダネル弦楽四重奏団									18 ハンガリーの俊英たち・ガルドイ・デヴッチ・チェロリサイタル
音楽普及事業	オルガンコンサート						20 第22代札幌コンサートホール・ホール・コンサート・ニホラ・プロボック・デュオ・アキカ・カワノ・リサイタル					11 オルガニク・インター・コンサート
	オルガンコンサート		5 <Kitaraあ・ら・かると> ニホラ・プロボック・デュオ・アキカ・カワノ・リサイタル		2 <札幌コンサートホール・ホール・コンサート・ニホラ>のバース・マイ・Kitaraのバース・マイ		8 第23代札幌コンサート・ニホラ・プロボック・デュオ・アキカ・カワノ・リサイタル		17 クリス・マス・オルガンコンサート			オルガン・CD制作
	札幌オーケストラシリーズ		3 <Kitaraあ・ら・かると> 3 <かるとにオーケストラ>						24 Kitaraのクリスマス			
	地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携		4 <北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業>若い芽の音楽会							25 Kitaraアーティスト・サポータープログラム		
	Kitaraアフタヌーンコンサート		1,2 そよ風のバロック・ヴァイオリン&チェンバロの音色にのせて			13 びわ湖ホール声楽アンサンブル〜美しい日本の歌	23 野平 一郎レクチャーコンサート					
ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると		3-5 せがらにオーケストラ(再編) / スプリング・ブラス〜中学生・スズキヤリ / ニホラさんのオルガンコンサート / 3歳からのコンサート						12 東京六人組				
障がいのある方向け文化芸術体験事業(日程調整中)												
利用促進事業												
教育人材育成事業	エデュケーションプログラム											
	アウトリーチ事業(学校DEカルチャー、他事業部等連携)						13-14, 25-28 Kitaraアーティストコンサート			28 ひるがる! つたわる! オルガンのひびき		
	セミナー事業											
ネットワーキング事業	地元音楽大学等との連携事業											
	PMF共催事業											
	ホール・他都市連携事業											コンサートホール企画連絡会議

教育文化会館事業部 令和4年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化を創造し、発信する事業	良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供			●7/20 能楽なう			●10/3 人形浄瑠璃文楽					
	札幌の舞台芸術の創造・発表事業	●5月～11月 教文オペラ				●9/17-18 教文演劇フェスティバル2022						
芸術文化の普及振興・育成支援を行う事業	文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業	●4/29 能楽鑑賞のひととき			●8/27-28 さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座公演							
	子どもたちのための文化芸術活動の支援事業			●8月～11/20 子ども演劇ワークショップ ●8/5-7 夏休み子ども体験新喜劇 ●7/30-31 小・中学生のための能楽入門								
市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業		●5月～8/20 子どもたちのためのオペラワークショップ										
	市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業	●(通年)教文13丁目笑劇一座 ●5/4-5 高橋竜太ダンスワークショップ in Sapporo										
学校教育に係る文化芸術活動の支援事業		●5/14 中文連演劇ワークショップ2022 ●6/23-24 第68回高文連石狩支部演奏会 ●8/1-4 第37回札幌市中文連演劇発表会								●11/26-27 第17回北海道中学生演劇発表大会 ●12/10 第39回札幌市小学校児童音楽祭		
	将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業	●公立文化施設等とのネットワーク ●実業家など専門家との交流やメディアの活用 ●アンケートの実施										
札幌市民芸術祭	●(通年)札幌市民劇場	●5/29 マンドリン音楽祭	●7/10 ギター音楽祭	●7/10 ギター音楽祭 ●8/7 邦楽演奏会オーティション ●9/4 ギター音楽祭 ●9/13-15 新人音楽会オーティション			●10/15-16 市民合唱祭 ●10/19-23 市民美術・書道展 ●10月下旬 さっぽろ市民文芸刊行				●1/21-22 札幌市民吹奏楽祭	
								●11/3 新人音楽会 ●11/13 邦楽演奏会 ●11/26 さっぽろ市民文芸の集い			●2/18-23 市民写真展	
市民ギャラリー事業	●市民ギャラリー美術映画会(年間8回)							改修工事(11/1～3/13)				
	●4/16 オルガンコンサート ●5/14 市民ギャラリー手づくり作品市場	●7/8-9 陶芸体験教室 ●(調整中)教文13丁目笑劇一座出張公演 ●7/22 カルチャークラウド2022			●8/14 夏休みおえかきワークショップ ●8/14 夏休み子ども映画会 ●8/27-28 七宝体験教室			●(調整中)中央区東地区連合町内会コンサート ●10/22 市民ギャラリーオータムコンサート ●10/25-30 札幌市中学校美術・書道展				●8/17-19 ロビー ミニ上映会 ●(調整中)札幌圏大学生合同写真展 ●8/25 春休み 子ども映画会

市民交流プラザ事業部 令和4年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
創造事業	●(通年)hitaruハレエプロジェクト(準備)										●2/26.28 hitaru「フィガロの結婚」モーツァルト	3月
鑑賞事業		●5/18 hitaruのひととき～聴取のコミュニケーション～	●5/27-29 第3回さっぽろ落語まつり 舞台「千と千尋の神隠し」 ●6/18 hitaruのひととき～尾高 高明 presents 偉大なる英国の巨匠たち～			●9/24 山海塾「降りくるもののみかで-とぼり」 ●10/7-10 ミュージカル「ミス・サイゴン」 ●10/11 海外歌手コンサート(調整中)	●11/7 K/バリエ コンパニー ●11/20 hitaruのひととき 声優朗読劇 VORLESEN～フィガロの結婚～		●12/31 2022 HTBシルベスターコンサート			
普及・育成事業	●(調整中) hitaruオペラプロジェクト 「フィガロの結婚」関連事業 演出家 三浦安浩トークイベント			●7/1 青少年向けハレエ鑑賞事業			●10/22-23 劇団た組					
交流事業	●(調整中)踊り継がれるコンテンツ・ボランティア・ダンスの名作を踊ろう Rosas「Violin Phase」 ●5/28-29 村川拓也「ムーンライト」 ●5/30 hitaru劇評入門						●9/25 hitaru劇評入門					
普及・発信、にぎわい創出事業												
活動支援事業 調査研究事業												
札幌文化芸術交流センターに関する事業												
広報・利用促進に関する事業												

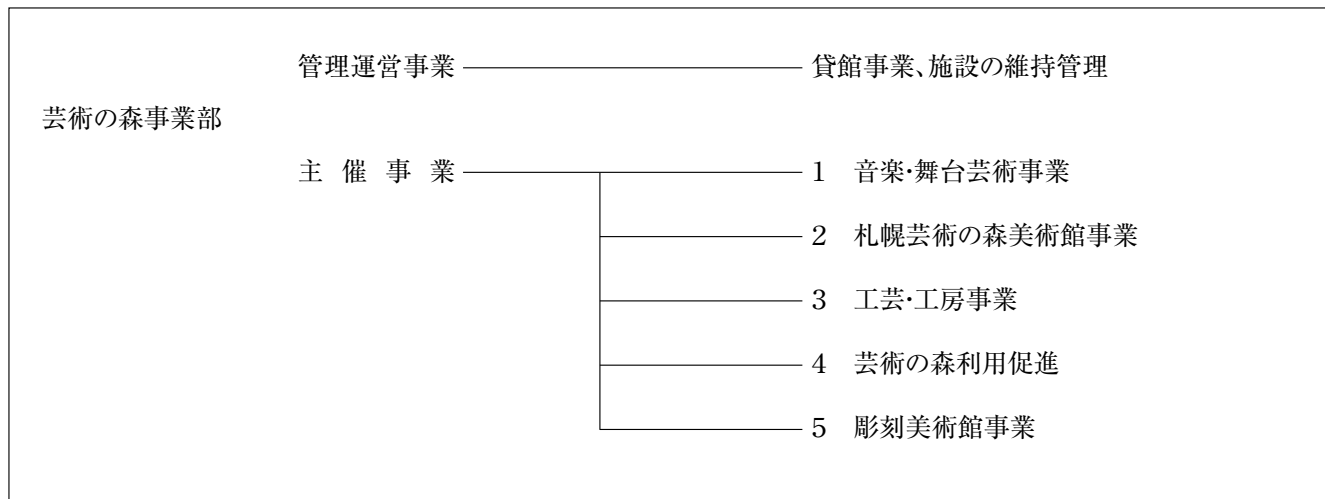
〈 詳 細 資 料 〉

1 芸術文化の創造発信と普及振興に関する事業

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

I. 芸術の森事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標	
利用状況	芸術の森	野外美術館 観覧者数	61,246人	21,000人	50,000人
		札幌芸術の森美術館 観覧者数	177,066人	108,000人	170,000人
		総入園者数	434,520人	300,000人	500,000人
		注) 各工房の講習会受講者数等は総入園者数に含まれる。			
	彫刻美術館	本館 観覧者数	10,863人	9,000人	9,000人
		記念館 観覧者数	7,091人	4,000人	5,000人
		総入館者数	17,954人	13,000人	14,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～5月25日は駐車場を含めた全施設を休館。令和2年5月26日～5月31日は駐車場、芸術の森センター、野外美術館を除いた施設の休館を継続。令和3年5月18日～6月20日は芸術の森臨時休園。令和3年5月4日～7月11日、8月31日～9月30日は彫刻美術館臨時休館。

3. 主催事業

1 音楽・舞台芸術事業

(1) 札幌の文化芸術発信事業

① サッポロ・シティ・ジャズ 2022

音楽を通して札幌の魅力を生み出し、発信する事業の16年目。夏季は企業・団体とタイアップするステージを開催し、冬季は札幌市民交流プラザを会場に、国内外のトップアーティストが出演するシアタージャズライブや、誰もがジャズに親しめる普及ライブを実施する。

期 日：通年(札幌市民交流プラザ企画は令和4年12月1日(木)～12月7日(水) 予定)

会 場：札幌市民交流プラザ ほか

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会(札幌市、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

② ノースジャムセッション

芸術の森野外ステージを会場に開催する野外ジャズフェスティバル。市民の音楽活動の振興を図るとともに、質の高い演奏の提供を目的として毎年開催。令和4年度はユース世代ジャズバンドの成果発表とトッププロによる2部構成で開催する。

期 日：令和4年8月28日(日)

会 場：野外ステージ

(2) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

① 第23期札幌ジュニアジャズスクール

ジャズ音楽を通じた子どもたちの豊かな情操の育成を目的に、平成12年度より継続実施する事業の23年目。毎週末に定期練習を行い、定期演奏会をはじめ病院や福祉施設、地域イベント等で演奏活動を行う。道内他地域のジャズスクールとの合同合宿・演奏会などを連携して開催する。

期 日：通年

会 場：アートホール ほか

② 札幌芸術の森バレエセミナー

次世代のバレエダンサーの育成を目的として、全国から受講者を募集し世界水準の内容でのセミナーを行う。新型コロナウイルス感染症の影響により、海外の講師陣の招聘が難しいことから、令和3年度と同様に国際的に活躍する日本人指導者・ダンサーを講師とするカリキュラムで開催する。

期 日：令和4年8月3日(水)～8月7日(日) 予定

会 場：アートホール

③ ユースジャムセッション

10代を対象とする3カ年計画事業の3年目。道内若手ジャズバンドを招聘し、ジャズとコーラスの編成で新たな音楽を創造するワークショップと成果公演を実施する。市アクションプラン2019採択事業「国際ユースジャズキャンプ」もプログラムに加え、海外ジャズバンドとの交流を行う。

期 日：令和4年5月～令和5年1月

会 場：アートホール、野外ステージ ほか

(3)文化芸術を通じた市民活動の促進

①パークジャズライブ

市民自らが演奏者やイベント運営スタッフとして参加し、つくりあげる音楽イベント。文化芸術を通じた市民活動の促進と市民文化の醸成を目的として実施する。市内約10会場で約180組が2日間にわたり無料ライブを繰り広げるほか、全国から公募した実力バンドによるコンテストも開催する。

期 日：令和4年7月16日(土)～7月18日(月・祝)

※ボランティア「ジャズセーバーズ」事業は通年

会 場：大通公園2丁目、STV ホール、創成 EAST 地区 ほか

②芸森アートマーケット

市民アーティスト相互の交流や発表の機会の創出、また、芸術の森の賑わいの創出を目的として手づくり作品によるマーケットを開催する。屋内美術館の会期や園内誘客イベントにあわせて開催し、集客における相乗効果を図る。

期 日：令和4年4月～11月 計5回

会 場：美術館前広場、工芸館前広場、アートホール

(4)質の高い文化芸術の創造・提供

①ビッグバンドプロジェクト

札幌を拠点に活動するプロミュージシャンで結成するプロジェクト事業の11年目。世界的ピアニストのデビッド・マッシュを音楽監督に迎え定期練習を行い、成果発表公演を開催する。今年度はユースジャムセッション事業の一環として、講師・共演者の立場で活動する。

期 日：通年

会 場：アートホール ほか

(5)各種団体との連携による文化芸術の振興

①各種団体共催・施設利用促進事業

芸術の森野外ステージやアートホールなどを会場に、イベントやコンサートを企画する団体との共催事業を実施する。運営ノウハウを伝え、コーディネートや広報のサポートを行い、市民団体の活動振興を図る。

期 日：通年

2 札幌芸術の森美術館事業

(1)展覧会事業

①PIXARのひみつ展 いのちを生み出すサイエンス

新規

アニメーション制作のカギとなる8つの工程を通してPIXARアニメーションを支える科学について学ぶハンズオン展示。モデリングやリギングといった専門的な知識や技術を『トイ・ストーリー』や『ファインディング・ニモ』などPIXARアニメーションの人気キャラクターを例に体験する。

期 日：令和4年4月19日(火)～6月28日(火)70日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：札幌テレビ放送株式会社

②銀の匙Silver Spoon展

新規

2011年に『週刊少年サンデー』（小学館）で連載を開始した荒川弘の漫画「銀の匙 Silver Spoon」。北海道の大蝦夷農業高校を舞台に、主人公・八軒勇吾の成長を描いた物語はアニメ、映画にもなり話題となった。本展では約200点の直筆原稿やカラー原画、初公開の制作資料を紹介する。

期 日：令和4年7月16日(土)～9月11日(日)58日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：北海道テレビ放送株式会社、HTBプロモーション、株式会社北海道新聞社

③北海道の建築(仮称)

新規

北海道が始まってから現在に至るまでに建てられた様々な建築。原野を切り開き築かれた開拓地の建物、その発展によって生まれた都市、厳しい冬に対応する技術など、この地域ならではの建築を特徴づける作品を選出し、北海道建築史を概括する。

期 日：令和4年9月23日(金・祝)～10月10日(月・祝)18日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：公益社団法人日本建築家協会北海道支部

④北海道陶芸展50周年・北海道シニア陶芸展40周年記念事業 北海道陶芸の変遷vol.2・現代陶芸の今

新規

北海道陶芸協会の50周年を記念する展覧会。過去の北海道陶芸展受賞作品や協会と関わりのある道外作家の作品、創設者下沢土泡の作品など、陶を中心に様々に広がる表現を紹介する。同時に、同会の主催により40周年を迎える「北海道シニア陶芸展」との合同開催とする。

期 日：令和4年10月22日(土)～11月6日(日)16日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：北海道陶芸協会

⑤野田弘志 真理のリアリズム

新規

野田弘志（1936-）は日本を代表するリアリズム画家。学生時代、広告会社時代の作品、画壇デビューを果たした頃の細密な静物画から、野田の名が広く知られる契機となった新聞連載小説の挿絵原画、骨や生ける人間を描き独自の死生観を示した大作、等身大の肖像画までを一堂に展覧する。

期 日：令和4年11月19日(土)～令和5年1月15日(日)45日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：札幌テレビ放送株式会社

⑥札幌美術展 昨日の名残 明日の気配

パンデミックによる変化の時代にある現在。北海道、札幌ゆかりのアーティストたちが鋭敏な感性により、かつてあった「昨日の名残」と、これから予感させる「明日の気配」を感じ取り、「今」を浮き彫りにする作品を展覧する。自然と人、人と人の関係を軸として私たちの現在地を探る。

期 日：令和5年1月28日(土)～3月12日(日)38日間

会 場：札幌芸術の森美術館

⑦札幌芸術の森美術館コレクション選

約1,700点の札幌芸術の森美術館のコレクション作品から、近年新たに収蔵した作品を中心に紹介する。

期 日：令和4年11月19日(土)～令和5年1月15日(日)45日間、

令和5年1月28日(土)～3月12日(日)38日間

会 場：札幌芸術の森美術館B展示室

(2) 野外美術館

① ボランティアによる作品解説

研修を積んだボランティアスタッフによる作品解説を毎日行う。定時解説のほか、事前に申し込みのあった団体やグループには、希望や所要時間等に合わせたコース組みも行う。

期 日：令和4年4月29日(金・祝)～11月3日(木・祝)

② 鑑賞補助アプリ、グッズの運用

スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」での作品解説の配信（無料）、および問いかけに答えながら鑑賞を深める「彫刻鑑賞ノート」、作品をかたどったシールをマップ上に貼って楽しむ「野外美術館シールマップ」（各220円）の販売などを通じ、作品鑑賞により親しむための取り組みを行う。

期 日：通年

(3) 教育普及事業

① 佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ

子どもの造形教育に尽力した佐藤忠良の精神を受け、様々なワークショップを開催。また、アーティストを招いてワークショップを開催するほか、予約なしで気軽に体験できるプログラムや制作キットの販売を行う。

期 日：通年

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

② 子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

札幌市内の小学校及び特別支援学校小学部の5年生を学校単位で札幌芸術の森（札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ）もしくは本郷新記念札幌彫刻美術館に招待し、芸術作品の鑑賞、それを踏まえた造形活動に取り組む機会を学校に提供する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ、本郷新記念札幌彫刻美術館

(4) 利用促進

① オリジナルグッズの製作・販売

展覧会関連グッズ、図録等を販売するほか、地元作家の作品を紹介、販売する。また、札幌芸術の森美術館オリジナルのグッズを製作・販売する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館

(5) 人材育成

① ボランティア及び美術館協力員

多様な美術館活動を補佐する人材確保のため、野外作品解説ボランティア及び美術館協力員（資料整理部・教育サービス部）を養成する。

期 日：通年

② 博物館実習

美術館学芸員を志す大学生を対象に、6日間にわたる博物館実習（館園実習）を実施。

期 日：令和4年10月25日(火)～28日(金)、31日(月)、11月1日(火)

会 場：札幌芸術の森美術館

(6) 保管・整理

① 作品の保存及び管理

美術館における収蔵作品の保存及びデータベース管理を行う。※野外美術館の作品も含む
期 日：通年

② 資料整理

美術館における書籍等の二次資料の整理及びデータベース管理を行う。
期 日：通年

3 工芸・工房事業

(1) 展覧会事業

① 第22期工芸館常設展示事業

市民が良質なクラフト作品に出会い、購入できる場の創造を目的に開催。北海道内で活動するクラフト作家を中心に作品を展示・販売。特定の作家や作品ジャンルなどに焦点を当てた企画展示なども行い、クラフト作品の魅力を発信する。また、並行してインターネット上での作品紹介と販売も行う。

期 日：令和4年7月16日(土)～令和5年3月26日(日)

会 場：工芸館常設展示ホール内クラフトギャラリー “ベストポケット”

② 第28回芸術の森地区文化祭

札幌市南区芸術の森地区連合町内会による文化事業。芸術の森地区まちづくりセンターと連携し、工芸館を会場に、絵画、写真、書道、工芸等、地域の方々の創作活動の発表の場となる展覧会を開催する。

期 日：令和4年11月（調整中）

会 場：芸術の森センター・アートロビー、レクチャー室

主 催：芸術の森地区連合会、芸術の森地区文化祭実行委員会（芸術の森地区まちづくりセンター、札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）ほか）

(2) 普及事業

① 工芸・版画講習会事業

各分野において、工芸と版画の制作者の拡大に繋がる技術の取得や向上を目指し、市民向けの講習会を通年で開催する。各講習会の対象者を明確にし、参加者の制作意欲を高めるとともに、生活に新たな発見や潤いを得る機会を提供する。

● 一般講習会

陶芸・テキスタイル・七宝・ガラス・金工・木工及び版画の、子どもから大人向け講習会を行う。

● グループ講習会

修学旅行やPTA、町内会などの団体を対象に、2時間程度でクラフト作品の制作を体験する講習会を通年開催する。

【陶芸】 たまづくり・カップ制作コース、ひもづくり・カップ制作コース、板づくり・皿制作コース、絵付け・小皿コース

【テキスタイル】 絞り染め・バンダナコース

【七宝】 多色盛り・リーフペンダントコース

● ふらっとクラフト体験

事前予約不要の気軽なクラフト体験を実施（器に絵付けをしてみよう、たまづくりで器をつくろう、和紙のちぎり絵はがき、お絵かきバンダナ）。

●ワークショップ、セミナー

市内文化施設やクラフト関連イベントと連携し、施設外でのクラフトを中心とした入門ワークショップ、セミナーの開催により、工芸の知識や技法への興味を醸成し、クラフト工房での制作体験へ誘う。

期 日：通年

会 場：クラフト工房、染工房、織工房、木工房、版画工房、陶工房ワークショップルーム、市内各所

(3)連携事業

①市内小学校、各種事業体、市内文化施設との連携

工芸・版画講習会事業をアウトリーチ事業として開催。

期 日：通年

会 場：市内小学校、各種事業体、市内文化施設等

4 芸術の森利用促進

(1)広報活動

①ホームページ、SNSの活用

札幌芸術の森で行う展覧会や講習会等の事業、貸工房をはじめとする各施設などの情報について、ホームページやフェイスブック、インスタグラムなどSNSを活用し、積極的に情報を発信することによりPRを行うとともに、利用者の利便性向上に努める。

②総合案内パンフレットや集客チラシの製作、配布

来園者を対象に広い園内をわかりやすく紹介する総合案内パンフレットを作成し配布することで、サービス向上を図りつつ、来園目的以外の施設へも足を運び園内を周遊してもらえるよう促す。市内小学校の全児童に年2回、夏・冬休みのイベントをまとめた子ども向け情報紙「もりくる」を配布する等のPRを行う。

③マスコミへの情報提供、誘致活動

芸術の森の情報を掲載した「今週の芸森。」をマスコミや関係各所にインターネット等で毎週配信し、各事業でのマスコミへの働きかけとあわせ、メディアで記事として取り上げてもらえるよう積極的にPRに努める。

また、旅行会社やコンベンションビューローと連携し、MICE事業、インバウンドツアーの誘致、修学旅行の誘致を図る。

(2)地域連携

①芸術の森地区連合会

芸術の森地区文化祭や芸術の森地区音楽祭をはじめとした、芸術の森地域の文化活動や小中学校等の団体発表の会場として芸術の森を活用し、地域の方々との交流機会を創出する。

期 日：芸術の森地区音楽祭 令和4年10月

芸術の森地区文化祭 令和4年11月（調整中）

雪あかりの祭典 令和5年2月

②札幌市立大学ほか教育機関

連携協定を締結している札幌市立大学と事業を行うほか、各施設や主催事業での学生のインターンシップ受け入れを行う。

期 日：通年

(3) 四季を通じた誘客促進事業

① 野外美術館謎解きイベント(通年)

気軽に芸術文化に親しんでもらうことを目的として、子どもから大人まで楽しむことができる、広大な敷地ならではの周遊型イベントを行う。

期 日：令和4年7月22日(金)～11月3日(木・祝)

会 場：野外美術館

② 芸森スプリングフェスタ(春)

芸森の森に気軽に足を運び、来園者の再訪につながるよう、野外美術館の夏季オープンにあわせて春の訪れを楽しめるイベントを実施する。

期 日：令和4年4月下旬～5月上旬

会 場：野外美術館ほか

③ 芸森バースデー(夏)

開園記念日にあわせて夏を感じられるイベントを実施する。

期 日：令和4年7月23日(土)～24日(日)

会 場：野外美術館ほか

④ あしたのげいもり(秋)

野外美術館や野外ステージをメイン会場とした、音楽・映像フェスティバルを開催する。ポータブルラジオを活用して会場内の音を限りなく制限しながら楽しむことができるという、新たな芸術文化体験の場を創出する。

期 日：令和4年9月

会 場：野外美術館、野外ステージほか

主 催：NoMaps実行委員会、あしたのしあたま、札幌芸森の森(公益財団法人札幌市芸術文化財団)

⑤ 芸森かんじきウォーク(冬)

野外美術館の冬期休館中に「かんじき」を貸し出し、雪の中の彫刻鑑賞を楽しめる機会を提供する。あわせてミニゲームも企画・開催し、冬のレジャーイベントとして野外美術館の利用促進を図る。

期 日：令和5年1月上旬～3月上旬

会 場：野外美術館

⑥ 雪あかりの祭典(冬)

南区内の各地区の地域団体や施設で毎年開催される「雪あかりの祭典」に、芸森の森地区の施設として参加し地域の方々との交流の機会を創出する。

期 日：令和5年2月

主 催：芸森の森地区雪あかりの祭典実行委員会(芸森の森地区連合会、芸森の森地区まちづくりセンターほか)

5 彫刻美術館事業（本郷新記念札幌彫刻美術館）

展覧会及び関連事業の開催を通じて、彫刻芸術を中心とした美術の普及、振興を図る。

(1) 展覧会事業

① 本郷新・全部展④100の石膏像

当館所蔵の364点に及ぶ石膏原型の内、特大の野外彫刻から小品に至るまで100点を陳列し、石膏原型の役割を改めて見つめ直すとともに石膏像特有の魅力に迫る。

期 日：令和3年4月29日(木・祝)～令和4年5月31日(火)247日間(内、令和4年度52日間)

会 場：記念館

② 本郷新の言説

芸術論、作品論、風土論など数多くの文章を出版や手記を通じて遺した本郷新。本展では、それらの言葉や思想をなぞっては彫刻や絵画に立ち返り、言説と造形との関係を検証することを試みる。

期 日：令和4年6月11日(土)～令和5年4月16日(日)257日間(内、令和4年度243日間)

会 場：記念館

③ はじめてのほんごうしん

没後40年、開館40年を経た今だからこそ、改めて本郷新の現代的意義づけを行い、人々の認識を高める工夫を施し、趣向を凝らした展覧会を打ち出す。

期 日：令和4年1月28日(金)～5月31日(火)106日間(内、令和4年度52日間)

会 場：本館

④ 生誕100年 藤川叢三展

新規

マリノ・マリーニに師事し、独自の彫刻表現を追求した藤川叢三の生誕100年記念展。ブロンズ像のみならず彩色されたテラコッタ像や版画作品なども紹介する。北海道教育大学で教鞭を執った教育者としての側面にも触れる。

期 日：令和4年6月11日(土)～8月31日(水)70日間

会 場：本館

⑤ 建築家 上遠野徹と本郷新の宮の森のアトリエ

新規

東京を拠点に活動していた本郷新が故郷・札幌でのアトリエ兼ギャラリーとして使用することを目的に建てたのが記念館である。本展ではこれを設計した上遠野徹に焦点をあて、図面や文書、模型などを展示し、彫刻と建築との関係を改めて検証する。

期 日：令和4年9月10日(土)～12月11日(日)80日間

会 場：本館

⑥ New Eyes 視線のはなし

若手作家の育成を願った本郷新の想いを受け2012年より開催しているシリーズ展。北海道、札幌を拠点に活動する美術家を中心に、我々をとりまく世界を見つめる作家たちの新鮮な視点を紹介する。

期 日：令和4年12月23日(金)～令和5年4月16日(日)94日間(内、令和4年度80日間)

会 場：本館

⑦さっぽろ雪像彫刻展2023

14年目を迎えるさっぽろ雪像彫刻展実行委員会との共催展。市内の造形作家および北海道芸術デザイン専門学校（予定）などの学生チームが雪の彫刻作品を制作・展示する。

期 日：令和5年1月27日(金)～29日(日)3日間

会 場：本館前庭

主 催：さっぽろ雪像彫刻展実行委員会、本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

(2)本郷新記念札幌彫刻賞

①第4回本郷新記念札幌彫刻賞 募集

本郷新の功績を記念するとともに、若手作家の育成を願った本郷の遺志を受け、50歳未満の若い彫刻家を対象に、優れた彫刻作品に賞を贈る事業。受賞作は「大通交流拠点地下広場」に約3年間設置、当館を会場に入選作品展と受賞作家の個展を開催する。本年は募集、一次選考の年となる。

期 日：令和4年10月～令和5年1月募集

②第4回本郷新記念札幌彫刻賞 第1次選考(入選作決定)

なお、一次選考通過の5作品に対して「入選作品」と位置づける。

期 日：令和5年2月選考

(3)普及事業

①子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学校5年生を美術館に招待する事業。学校は、対話による作品鑑賞とワークシートを組み合わせた「彫美・鑑賞コース」と粘土による造形（ひもづくり）に重きを置いた「彫美・表現コース」のいずれかを選択。

期 日：通年

②彫美連続講座

彫刻芸術への興味・関心を喚起し、理解を深めてもらうことを目的に、研究者や実作者を講師に招いた講座を全3回開講する。

期 日：年3回

会 場：札幌市民交流プラザ SCARTS、札幌市教育文化会館 ほか

③造形教室

創作の楽しみを味わってもらうことを目的に、大人を対象とした「おとな造形教室」、小学生を主な対象とした「子ども造形教室」を実施。デッサンや造形等の楽しさを学ぶ機会をつくる。

期 日：夏休み、冬休み

④ナイトミュージアム

開館時間を午後7時30分まで延長して市民の来館機会を広げ、各種催事を実施し、当館のPRと開催中の展覧会の入場者数の増加を図る。

期 日：令和4年7月15日(金)

(4) 協力事業

① 学校教育への協力

小学校における総合的な学習の時間や社会科等の授業、中学校における職場体験、大学での調査・研究など学校教育への協力を行う。

期 日：通年

② 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得希望の大学4年生を対象とした博物館実習（館園実習）の受け入れ、指導を行う。

期 日：随時

③ ボランティアの受け入れ

学校、団体、個人等のボランティア活動の受け入れ、対応を行う。

期 日：通年

(5) 連携事業

① 地域・企業との連携

展覧会、ミュージアムコンサート、サンクスデー等の事業において、地域や地元企業と広報や施設利用、人材提供等の面で連携を行う。

期 日：随時

(6) 広報活動

① ホームページ、SNSの活用

展覧会等の事業の情報のほか、本郷新に関する情報を積極的に配信する。また、Twitter、Facebook、InstagramのSNSを活用し、こまめな情報発信によりPRを行う。

期 日：通年

② 地域住民への情報提供

町内会や近隣小学校等への事業チラシ配布や、町内会だよりの活用により、地域住民への情報提供に努める。

期 日：通年

(7) 利用促進

① サンクスデー

来館者への感謝として、開館記念日に近い日曜日と文化の日は観覧料を無料にし、来館促進を図るとともに、各種イベントを実施して、幅広い層に美術館を楽しんでもらう。

期 日：令和4年6月26日(日)、11月3日(木・祝)

② 図書・情報コーナー

本郷新および彫刻美術館に関する図書や北海道内に設置された野外彫刻の写真資料を公開し、来館者の閲覧に供した。令和3年度10月からは常時開設としている。

期 日：通年

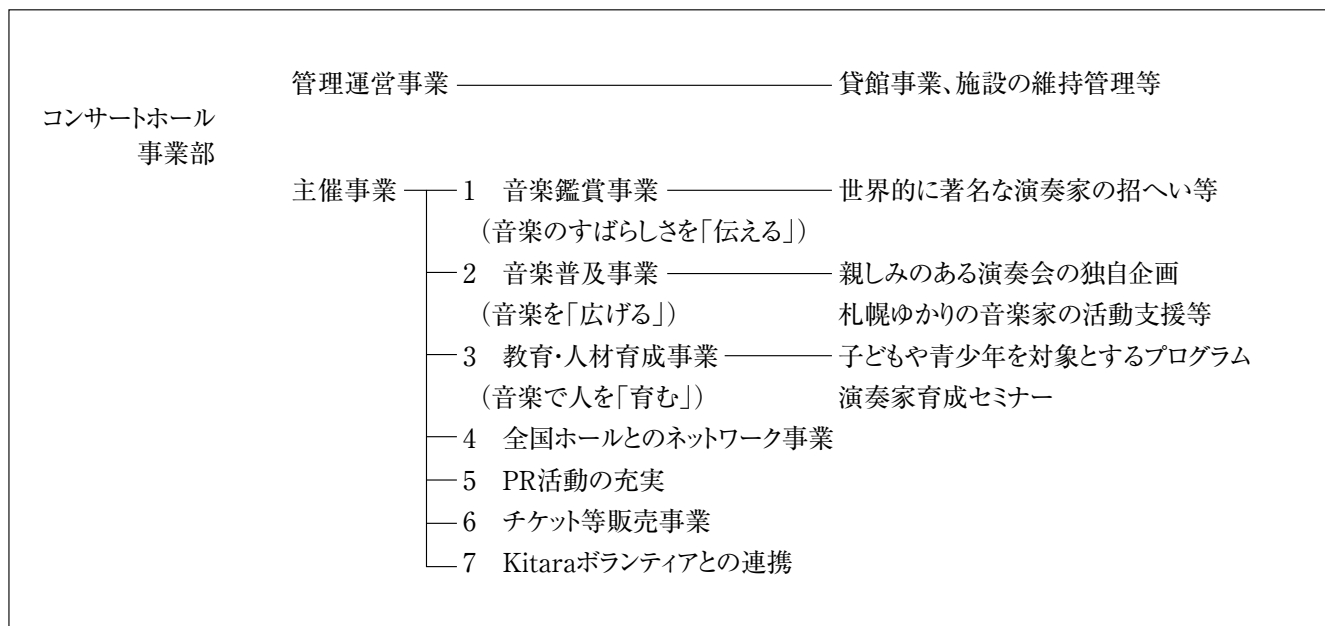
③ グッズ販売

所蔵品ポストカード、過去図録、受託商品等を販売する。

期 日：通年

Ⅱ. コンサートホール事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

利用 状 況			令和2年度実績 (令和2年11月1日まで)	令和3年度実績 (令和3年7月1日～11月30日)	令和4年度目標
	大ホール	利用率	45.2%	75.8%	87.0%
小ホール	利用率	27.0%	61.5%	77.3%	

総入場者数	28,861人	83,471人	380,000人
-------	---------	---------	----------

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～5月31日は全館貸出休止、令和3年7月1日～7月11日は原則貸出休止、8月2日～9月30日は新規予約受付停止。

※特定天井及び設備機器等の改修工事のため令和2年11月2日～令和3年6月30日は休館

【参考】

令和元年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：56.5% 小ホール(500席未満)：57.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和2年度公立文化施設の運営情報調査報告」)

3. 主催事業

1 音楽鑑賞事業

音楽専用ホールならではの優れた音響特性を活かし、市民のニーズの高い、海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による公演を企画し実施する。あわせて、全国のホールと連携し、魅力的な鑑賞事業の創造に取り組む。

(1) オーケストラシリーズ

大ホールの音響特性を活かし、＜Kitara ワールドオーケストラシリーズ＞として、世界的に著名なオーケストラの演奏の鑑賞機会を広く市民に提供する。

① サー・サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団

新規

ベルリン・フィルの首席指揮者兼芸術監督を17年間務め、現在ロンドン交響楽団の音楽監督を務めるサー・サイモン・ラトルと同楽団を招へいする。令和2年に招へいを予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催中止。同氏のKitara主催公演への出演は24年ぶりとなる。

期 日：令和4年10月3日(月)

会 場：大ホール

出 演：サー・サイモン・ラトル（指揮）
ロンドン交響楽団（管弦楽）

② ファビオ・ビオンディ & エウローパ・ガランテ

新規

ヴァイオリニストのファビオ・ビオンディにより創立されたバロックオーケストラ「エウローパ・ガランテ」は、明るく色彩感あふれる新鮮な演奏で、世界的にも高く評価され、イタリアンバロック音楽の象徴的存在として知られている。ヴィヴァルディ「四季」など、イタリアンバロックの名曲を紹介する。

期 日：令和4年11月2日(水)

会 場：大ホール

出 演：ファビオ・ビオンディ（指揮・ヴァイオリン）
エウローパ・ガランテ（古楽アンサンブル）

③ 山田和樹指揮 横浜シンフォニエッタ

新規

1998年の創立以降横浜を拠点に国内外で活動し、フランスのラ・フォル・ジュルネなど海外の音楽祭にも出演を果たした横浜シンフォニエッタと、同楽団音楽監督で数多くの海外オーケストラに客演し国際的に活躍する山田和樹を招へいする。

期 日：令和5年3月17日(金)

会 場：大ホール

出 演：山田和樹（指揮）
河村尚子（ピアノ）
横浜シンフォニエッタ（管弦楽）

(2) ソリストシリーズ

器楽、声楽等の各分野の著名な演奏者（ソリスト）を招へいし、＜Kitara ワールドソリストシリーズ＞として名演奏を広く市民に紹介する。

① 森麻季 & グザヴィエ・ドゥ・メストレ デュオ・リサイタル

新規

日本を代表するオペラ歌手・森麻季と、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・ハーピストを務めるなど世界的に人気の高いグザヴィエ・ドゥ・メストレのデュオ・リサイタルを開催する。

期 日：令和4年9月18日(日)

会 場：小ホール

出 演：森麻季（ソプラノ）

グザヴィエ・ドゥ・メストレ（ハープ）

② サー・アンドラーシュ・シフ ピアノリサイタル

新規

世界的に活躍し、Kitaraのベーゼンドルファー・ピアノの選定者でもあるシフによるリサイタル。令和元年度に招へい予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となった。

期 日：令和4年10月29日(土)

会 場：大ホール

出 演：サー・アンドラーシュ・シフ（ピアノ）

③ 庄司紗矢香 & ジャンルカ・カシオーリ デュオ・リサイタル

新規

1999年パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで史上最年少および日本人としてはじめて優勝を果たし、世界的に活躍を続ける庄司紗矢香と、欧米の名だたる指揮者、オーケストラとの共演を誇るジャンルカ・カシオーリを招へいする。

期 日：令和4年12月4日(日)

会 場：大ホール

出 演：庄司紗矢香（ヴァイオリン）

ジャンルカ・カシオーリ（ピアノ）

④ <第25回リスト音楽院セミナー> 講師による特別コンサート

リスト音楽院セミナー講師として招へいするリスト音楽院教授によるリサイタル。「講師による特別コンサート」として実施する。

期 日：令和5年2月22日(水)

会 場：小ホール

出 演：リスト音楽院セミナー講師

(3) 室内楽シリーズ

室内楽で著名な演奏家を招へいし、小ホールの音響特性を活かした公演を実施する。室内楽の多彩な魅力を広く市民に紹介する。

① ダネル弦楽四重奏団

札幌コンサートホールが独自に招へいを続けるベルギーのカルテット。同団の得意とする現代曲などを含めたプログラムによる2日間連続公演。福岡、滋賀の公共ホールと連携し各地で公演する予定。札幌公演では、札幌大谷大学学長、千葉潤氏によるプレトークをおこなう。

期 日：令和4年6月4日(土)、5日(日)

会 場：小ホール

出 演：ダネル弦楽四重奏団
マルク・ダネル（ヴァイオリン）
ジル・ミレ（ヴァイオリン）
ヴラッド・ボグダナス（ヴィオラ）
ヨヴァン・マルコヴィッチ（チェロ）

②<ハンガリーの俊英たち> ゲルゲイ・デヴィッチ チェロリサイタル

新規

リスト音楽院等との連携により、ハンガリーのすぐれた若手アーティストを紹介する3か年プロジェクトの3回目として開催。ハンガリーを拠点に広く活躍中のチェリスト、ゲルゲイ・デヴィッチを独自招へいする。リスト音楽院セミナーの関連事業として実施。令和3年度に招へい予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となった。

期 日：令和5年2月18日(土)
会 場：小ホール
出 演：ゲルゲイ・デヴィッチ（チェロ）

2 音楽普及事業

道内唯一のプロオーケストラ札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し、音楽の普及を図る。

(1)オルガン事業

国内最大級のパイプオルガンと専属オルガニスト制度を活用し、さまざまな企画を実施する。

①オルガンワンコインコンサート

ワンコイン（500円）で気軽に楽しめるオルガンコンサート

1)オルガンウィンターコンサート

雪まつりの時期にあわせ、気軽に来場できるオルガン名曲コンサートを開催する。

期 日：令和5年2月11日(土・祝)
会 場：大ホール
出 演：第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト

②オルガンコンサートシリーズ

1)<Kitaraあ・ら・かると>ニコラさんのオルガンコンサート

初心者にも親しみやすいオルガンコンサートを行う。5歳から入場可。

期 日：令和4年5月5日(木・祝)
会 場：大ホール
出 演：ニコラ・プロカッチーニ（第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト）

2)<札幌コンサートホール開館25周年>Kitaraのバースデー

開館25周年を祝い、専属オルガニストと北海道出身の人形劇作家・沢則行の巨大人形とのコラボレーションをおこなう。5歳以上入場可。

期 日：令和4年7月2日(土)
会 場：大ホール
出 演：ニコラ・プロカッチーニ（第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト）
沢則行（人形演出）

3) 第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト

ニコラ・プロカッチーニ フェアウェルオルガンリサイタル

第22代専属オルガニスト、ニコラ・プロカッチーニの1年間の任期の締めくりとなるさよなら公演を実施する。

期 日：令和4年8月20日(土)

会 場：大ホール

出 演：ニコラ・プロカッチーニ（第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト）

4) 第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル

令和4年9月に着任予定の第23代専属オルガニストのデビューコンサートを実施する。

期 日：令和4年10月8日(土)

会 場：大ホール

出 演：第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト

5) クリスマスオルガンコンサート

パイプオルガンと高校生の合唱の共演によりクリスマスにちなんだ楽曲のコンサートを開催する。ミュンヘン・クリスマス市と協力し相互PRも行う。

期 日：令和4年12月17日(土)

会 場：大ホール

出 演：第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト

大木秀一（指揮）

市立札幌旭丘高等学校合唱部

札幌山の手高等学校合唱部

6) オルガンCD制作

第23代札幌コンサートホール専属オルガニストによる大ホールのパイプオルガンの演奏を録音。広くオルガン音楽を紹介するとともに、オルガンやオルガニストのPRとして活用する。

(2) 札幌オーケストラシリーズ

クリスマスコンサートやファミリー向けコンサートなどの事業を開催し、音楽の普及、振興を図る。

① <Kitaraあ・ら・かると> きがるにオーケストラ

札幌出身の太田弦と YouTube 等で人気の角野隼斗による、子どもも楽しめる公演を開催する。

期 日：令和4年5月3日(火・祝)

会 場：大ホール

出 演：太田弦（指揮・お話）

角野隼斗（ピアノ）

札幌交響楽団（管弦楽）

② Kitaraのクリスマス

2009年から小澤征爾音楽塾及びサイトウ・キネン・フェスティバル松本にて小澤征爾のアシスタントを務め、「世界が尊敬する日本人100人」にも選出された三ツ橋敬子を指揮者に迎え、イタリア音楽を中心に、クリスマスにちなんだプログラムを紹介する。

期 日：令和4年12月24日(土)

会 場：大ホール

出 演：三ツ橋敬子（指揮）
伊藤晴（ソプラノ）
札幌交響楽団（管弦楽） ほか

③Kitaraのニューイヤー

オルガン・チェンバロ奏者、指揮者、プロデューサーとしてマルチに活躍し、Kitara主催事業でも人気を博している鈴木優人を指揮者に迎え、箏協奏曲などの新年にふさわしいプログラムをお届けする。

期 日：令和5年1月14日(土)

会 場：大ホール

出 演：鈴木優人（指揮）
LEO（箏）
札幌交響楽団（管弦楽）

(3) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ

札幌市内で活動する演奏家、作曲家、音楽団体とともに、札幌独自の音楽公演事業を行う。魅力的な企画により、地元演奏家のさらなるレベルアップと聴衆づくりを目指す。

①<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業>若い芽の音楽会

札幌で活動する若手演奏家によるコンサートを開催。北海道教育大学、札幌大谷大学の各校から推薦された在学・卒業生を広く市民に紹介する。

期 日：令和4年5月4日(水・祝)

会 場：小ホール

出 演：北海道教育大学、札幌大谷大学から推薦された在校生、卒業生

②令和4年度Kitaraアーティスト・サポートプログラムI、II

市内音楽家から創意工夫に富む意欲的な企画を公募し、会場費補助と広報の支援を行う。平成21年度から開始し12年目となる事業。

期 日：令和5年1月25日(水)、3月15日(水)

会 場：小ホール

出 演：札幌で活躍する音楽家（個人、団体）

③<Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト> 札幌の^{ひびき}奏響Ⅲ

札幌出身、もしくは札幌で活躍する音楽団体、札幌音楽家協議会会員で組織した室内オーケストラと合唱団による合同公演。令和元年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となったコンサートを開催する。

期 日：令和5年3月11日(土)

会 場：小ホール

出 演：阿部博光、大嶋恵人（指揮）
札幌音楽家協議会室内オーケストラ・合唱団（管弦楽・合唱）

(4) Kitaraアフタヌーンコンサート

開催時間や内容を工夫し、より多くの市民に親しまれるコンサートを行ってきた「Kitaraランチタイムコンサート」を拡大し、90～120分の内容で、初めてクラシック音楽に触れるお客様にも、Kitaraファンにもお楽しみいただける「Kitaraアフタヌーンコンサート」を新たに企画する。

①そよ風のバロック～ヴァイオリン&チェンバロの音色にのせて～

新規

第22代札幌コンサートホール専属オルガニストとバッハ・コレギウム・ジャパンのコンサートマスターで日本の古楽界の第一線で活躍する若松夏美によるバロック・アンサンブルのコンサートを開催する。

期 日：令和4年6月12日(日)

会 場：小ホール

出 演：若松夏美 (バロック・ヴァイオリン)
ニコラ・プロカッチーニ (チェンバロ)

②びわ湖ホール声楽アンサンブル～美しい日本の歌

新規

日本初の公共ホール専属の若手声楽家集団・びわ湖ホール声楽アンサンブルを招へいし、子どもから年配のお客様まで幅広くお楽しみいただける日本歌曲のコンサートを開催する。5歳以上入場可。

期 日：令和4年8月13日(土)

会 場：大ホール

出 演：びわ湖ホール声楽アンサンブル (司会・独唱・合唱)
本山秀毅 (びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者)
植松さやか (ピアノ・編曲)

③野平一郎レクチャーコンサート

新規

ピアニスト、作曲家、指揮者、東京文化会館の音楽監督等として活躍する野平一郎を招へいし、Kitara所有の鍵盤楽器、ピアノ、チェンバロ、ポジティブオルガンとその音楽についての魅力を伝えるお話し付きコンサートをおこなう。

期 日：令和4年9月23日(金・祝)

会 場：小ホール

出 演：野平一郎 (ピアノ、チェンバロ、ポジティブオルガン、お話)

④東京六人組

新規

国内のオーケストラ等で活躍する6名によるアンサンブル。コンサートホール企画連絡会議の連携事業として、委嘱作品等の演奏を予定している。

期 日：令和4年11月12日(土)

会 場：小ホール

出 演：東京六人組
上野由恵 (フルート)
荒絵里子 (オーボエ)
金子平 (クラリネット)
福士マリ子 (ファゴット)
福川伸陽 (ホルン)
三浦友理枝 (ピアノ)

(5) ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると

札幌コンサートホールの各施設を使い、3日間にわたり演奏会や見学会、楽器体験などを企画するゴールデンウィークの音楽祭。クラシック音楽の普及と鑑賞者の増加を目的とした音楽普及事業。地元音楽家も多く出演する。

期 日：令和4年5月3日(火・祝)～5日(木・祝)

会 場：札幌コンサートホール全館

主な公演：

①きがるにオーケストラ(再掲)

②スプリング・ブラス～中学生スペシャル！

Kitaraあ・ら・かるとのプログラムのひとつとして、市内中学校吹奏楽部による合同演奏会を行う。

期 日：令和4年5月4日(水・祝)

会 場：大ホール

出 演：市内中学校吹奏楽部

③ニコラさんのオルガンコンサート(再掲)

④<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業>若い芽の音楽会(再掲)

⑤3歳からのコンサート

3歳から入場できるミニコンサート。一般財団法人地域創造登録アーティストを中心に招へいし、親子で楽しめる親しみやすいプログラムを企画する。

期 日：令和4年5月3日(火・祝)～5日(木・祝)

会 場：小ホール

出 演：加藤文枝 (チェロ)

泉真由 (フルート&ピッコロ)

松田弦 (ギター)

ヴィタリ・ユシュマノフ (バリトン) ほか

(6) 障がいのある方向け文化芸術体験事業

札幌市が実施する「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン」事業の委託を受け、文化芸術施設に来館する機会が少ない障がいのある方たちに向けた音楽ワークショップを実施する。

①障がいのある方向け音楽ワークショップ

期 日：調整中

会 場：大ホール

出 演：おとみっく (音楽ワークショップアーティスト)

(7) 利用促進事業

①音楽の絵本 with パイプオルガン

普段Kitaraでのコンサートを聴く機会のない層へのPRとして、動物たちが楽器を演奏する金管五重奏グループ「ズーラシアンブラス」を起用し、0歳の赤ちゃんから鑑賞することができるコンサートを行う。

期 日：令和4年11月23日(水・祝)

会 場：大ホール

出 演：ズーラシアンブラス (吹奏楽) ほか

(8) その他

①演奏会付き防災訓練

より安全なホール運営を行うため、市民に来場者として参加していただく防災訓練を実施する。

期 日：令和5年1月23日(月)

協 力：札幌市消防音楽隊

②札幌コンサートホール施設見学会

コンサートホールのPR及びKitaraファン拡大のため施設見学会を実施する。また、普段立ち入ることのできないステージ裏や楽屋などをKitaraボランティアと一緒に紹介する。

期 日：令和4年4月～令和5年3月 2～3回

③ゆきあかり in 中島公園

さっぽろ雪まつり期間中に、中島公園を中心とした地域の風物詩を作り上げることを目的として、近隣の施設・住民と協力しながら公園内を雪と灯（あかり）で彩る「ゆきあかり in 中島公園」を実施する。

期 日：令和5年2月

会 場：中島公園及び周辺

主 催：ゆきあかり in 中島公園実行委員会

札幌コンサートホール（札幌市芸術文化財団）、公益財団法人札幌市公園緑化協会、豊水地区連合町内会 ほか

3 教育・人材育成事業

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施するとともに、ホールの機能を生かし、世界トップレベルの音楽セミナーやオルガンセミナーの開催により演奏家や指導者の育成に努める。

(1)エデュケーションプログラム

①Kitaraあ・ら・かると

1)きがるにオーケストラ(再掲)

2)スプリング・プラス～中学生スペシャル！(再掲)

3)ニコラさんのオルガンコンサート(再掲)

4)＜北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業＞若い芽の音楽会(再掲)

5)3歳からのコンサート(再掲)

②Kitaraファースト・コンサート

19年目を迎える札幌市補助事業。教育委員会と連携し、札幌市内の全小学6年生約15,000人に、近郊9市町村の小学6年生（約4,000人）を加えて実施する。より多くの子どもたちがホールでコンサートを楽しめる機会を提供する。

期 日：令和4年10月13日(木)、14日(金)、25日(火)、26日(水)、27日(木)、28日(金)

会 場：大ホール

出 演：マティアス・バーメルト、川瀬賢太郎（指揮）

札幌交響楽団（管弦楽）

第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト（オルガン）

古屋瞳（司会）

③ひろがる！つたわる！オルガンのひびき

音楽の授業では体験しないような音楽の聴き方・楽しみ方を体験することを通して、“音楽を聴くための身体づくり”を目指す。

期 日：令和5年1月28日(土)

会 場：大リハーサル室、大ホール

出 演：調整中

(2)アウトリーチ事業

①<他事業部連携事業>専属オルガニストによる市民ギャラリーコンサート

札幌市民ギャラリーと連携し、第22代札幌コンサートホール専属オルガニストによるポジティブオルガンのアウトリーチコンサートを開催する。

期 日：令和4年4月16日(土)

会 場：札幌市民ギャラリー（財団他施設）

出 演：ニコラ・プロカッチーニ（ポジティブオルガン、第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト）
立花雅和（フルート）

②専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ(市内小学校)

専属オルガニストが、移動可能なポジティブオルガンとともに市内小学校等へ赴き、オルガン音楽の魅力を紹介するお出かけコンサート。市内小学校へのアウトリーチは、札幌市「学校DEカルチャー」の一環として開催。

期 日：令和4年4月～令和5年3月（調整中）

会 場：札幌市内小学校

出 演：ニコラ・プロカッチーニ（第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト）
第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト
吉村怜子（お話）

(3)セミナー事業

世界的音楽教育機関や音楽祭、地元音楽大学等と連携し、講習会や演奏会を開催する。

①オルガンセミナー

パイプオルガンを活用し、指導者と次世代の演奏家育成のためのセミナーや講習会事業を企画する。

1)パイプオルガン特別講義

地元音楽大学の学生を主な対象としたパイプオルガンについての特別講義とオルガン体験レッスンを実施。一般参加可。

期 日：講義 令和4年5月（日程調整中）

体験レッスン 令和4年6月（日程調整中）

会 場：大ホール、大リハーサル室

講 師：ニコラ・プロカッチーニ（第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト）

②第25回リスト音楽院セミナー

世界的音楽教育機関であるリスト音楽院より教授を招へいしレッスンと演奏会を行う。

期 日：令和5年2月22日(水)～27日(月)

会 場：小ホール、各リハーサル室

主 催：札幌コンサートホール（札幌市芸術文化財団）、リスト音楽院セミナー実行委員会（音楽大学
教授 ほか）

後 援：駐日ハンガリー大使館、株式会社河合楽器製作所 北海道支店、日本ハンガリー友好協会

協 力：株式会社ヤマハミュージッククリエティング 札幌店

講 師：イシュトヴァーン・ラントシュ（ピアノ）

ゲーボル・ファルカシュ（ピアノ）

バラージュ・レーティ（ピアノ）

ミクローシュ・ペレーニ（チェロ）

1) <ハンガリーの俊英たち> ゲルゲイ・デヴィッチ チェロリサイタル(再掲)

2) 講師による特別コンサート(再掲)

3) 歴代最優秀受講生によるランチタイムコンサート

過去のセミナーで最優秀受講生に選ばれ、現在札幌で活動する若手演奏家を紹介する。受講生との交流の場も設ける。

期 日：令和5年2月24日(金)

会 場：小ホール

出 演：過去の最優秀受講生（調整中）

4) 特別レクチャー&公開レッスン

セミナーで招へいたリスト音楽院教授によるレクチャーと北海道教育大学、札幌大谷大学学生への公開レッスンをあわせて行う。

期 日：令和5年2月25日(土)

会 場：小ホール

受講生：北海道教育大学学生、札幌大谷大学学生

講 師：リスト音楽院セミナー講師

5) 受講生コンサート

セミナー受講生の中から選ばれた優秀者によるコンサートを実施する。最優秀受講生を選考し、翌年以降、ハンガリーで開催される大規模な音楽祭に派遣する。

期 日：令和5年2月26日(日)

会 場：小ホール

出 演：第24回リスト音楽院セミナー最優秀受講生（ゲスト）

第25回リスト音楽院セミナー優秀受講生6～8名

(4) 地元音楽大学等との連携事業

音楽学科を設置している地元大学と連携し、未来の音楽家を目指す学生の活動を支援し広く市民に紹介する。

①<北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業>若い芽の音楽会(再掲)

②パイプオルガン特別講義(再掲)

③ひろがる!つたわる!オルガンのひびき(再掲)

④リスト音楽院セミナー 特別レクチャー&公開レッスン(再掲)

(5)PMF共催事業

世界の若手音楽家を育てるパシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) の趣旨に賛同し、共催事業を行う。

期 日：令和4年7月

4 全国ホールとのネットワーク事業

(1)ホール・他都市連携事業

①<Kitaraアフタヌーンコンサート>びわ湖ホール声楽アンサンブル～美しい日本の歌(再掲)

②<Kitaraアフタヌーンコンサート>東京六人組(再掲)

(2)札幌コンサートホールが招へいする音楽家を広く他都市に紹介する

①専属オルガニストによる公演

1)国際基督教大学オルガン演奏会

期 日：令和4年4月9日(土)

会 場：国際基督教大学礼拝堂 (東京)

主 催：国際基督教大学宗教音楽センター

出 演：ニコラ・プロカッチーニ (第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

2)サントリーホール オルガンプロムナードコンサート

期 日：令和4年7月7日(木)

会 場：サントリーホール 大ホール (東京)

主 催：公益財団法人 サントリー芸術財団

出 演：ニコラ・プロカッチーニ (第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

3)ザ・シンフォニーホール オール・バッハ名曲選 真夏のオルガンコンサート

期 日：令和4年7月30日(土)

会 場：ザ・シンフォニーホール (大阪市)

主 催：株式会社ザ・シンフォニーホール

出 演：ニコラ・プロカッチーニ (第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

②ダネル弦楽四重奏団

1)アクロス福岡公演(福岡)

期 日：令和4年6月7日(火)

新規

2)びわ湖ホール公演(滋賀)

期 日：令和4年6月10日(金)

新規

(3) 国内ホールと広く情報交換を行う。また、共同で音楽家の招へいや公演制作を行う。

①コンサートホール企画連絡会議(道外)

参加館：すみだトリフォニーホール、京都コンサートホール、アクロス福岡、所沢ミューズ、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）、札幌コンサートホール

期 日：令和4年7月、令和5年2月

5 PR活動の充実

(1) 広報活動

札幌コンサートホールを広く周知するため、様々な媒体により積極的な活動を行う。

- ①公演情報誌「KitaraNEWS」の発行
- ②ホームページ、Twitter、Instagram、アプリなどのソーシャルメディアや、テレビ、ラジオ等のマスメディアによる情報提供
- ③音楽専門誌、タウン情報誌、フリーペーパー等への広告掲載
- ④地下鉄駅構内電照広告の掲出
- ⑤公共交通機関や通行量が多い公共空間（地下歩行空間等）への広告掲出
- ⑥ホールスポンサーの獲得
- ⑦ Kitara ギャラリーでのホール資料や収蔵品展示によるホールの魅力紹介
- ⑧観光客の誘致、旅行・タクシー会社、ホテルとの連携強化
- ⑨オリジナルグッズの販売
- ⑩各種団体会員へのチケット販売（札幌市労連共済センター、札幌商工会議所 ほか）
- ⑪全国音楽ホール、音楽事務所、札幌市内公共施設、地下鉄主要駅、ホテル、病院、飲食店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付
- ⑫チケット販売促進、広報の強化

6 チケット等販売事業

札幌コンサートホールで行われるチケットの対面販売、電話予約販売のほか、インターネット販売を行い、購入しやすい環境を整える。

7 Kitaraボランティアとの連携

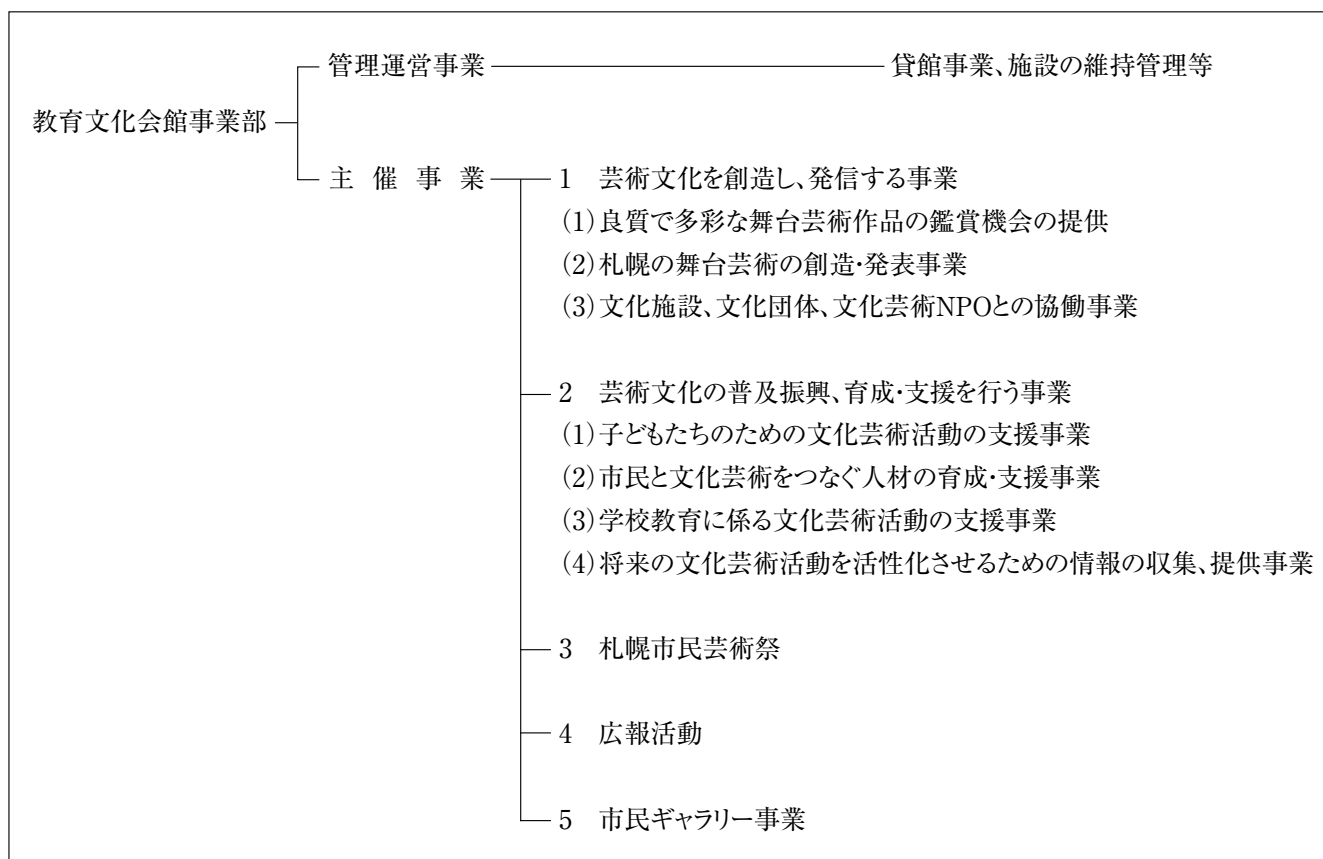
札幌コンサートホールの支援組織である「Kitara ボランティア」との連携により主催事業等の充実を図る。

人数：83名（令和3年12月現在）

- (1) ホール見学案内
- (2) Kitaraギャラリー運営補助
- (3) 主催事業補助（リスト音楽院セミナー ほか）
- (4) 専属オルガニストサポート（日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等）
- (5) 音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行

Ⅲ. 教育文化会館事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

			令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
利用状況	札幌市教育文化会館	大ホール 利用率	41.4%	56.0%	80.0%
		小ホール 利用率	49.3%	62.0%	80.0%
		総入場者数	123,761人	183,000人	456,000人
	市民ギャラリー	展示室(第1～第5展示室) 利用率	36.5%	73.5%	85.0%
		総入場者数	38,225人	77,200人	81,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～5月31日は全館貸出休止、令和3年5月3日～7月11日、8月2日～10月5日は新規予約受付停止。

※札幌市教育文化会館は大規模改修工事のため、令和5年1月1日～令和6年10月休館予定。

※札幌市民ギャラリーは特定天井等改修工事のため、令和4年11月1日～令和5年3月13日休館予定。

【参考】

令和元年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール (1,000 席以上) : 56.5% 小ホール (500 席未満) : 57.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和2年度公立文化施設の運営情報調査報告」)

3. 主催事業

1 芸術文化を創造し、発信する事業

(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

先進的な舞台芸術作品、次世代へ伝えてゆくべき伝統芸能の両面から、札幌市教育文化会館の有する舞台機構を最大限に活かした質の高い舞台芸術作品を上演する。上演にあわせ、舞台作品への理解を深めるためのレクチャー等を実施するなど鑑賞者の拡大を図る。

①能楽なう

京都芸術センターとの共同企画として能楽を上演し、市内では鑑賞機会の少ない伝統芸能を紹介する。

期 日：令和4年7月20日(水)

会 場：大ホール（能舞台）

演 目：能 宝生流「花筐」

能 観世流「葵上」

狂言 大蔵流「素袍落」

企画制作：京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）

②人形浄瑠璃文楽

日本の代表的な伝統芸能で、ユネスコ無形文化遺産にも指定されている文楽を市民に紹介する。

期 日：令和4年10月3日(月)2回公演

会 場：大ホール

演 目：昼の部「花競四季寿」より万歳・鷺娘

「冥途の飛脚」羽織落としの段 封印切の段

夜の部「団子売」「菅原伝授手習鑑」寺入りの段 寺子屋の段

制 作：公益財団法人文楽協会

(2) 札幌の舞台芸術の創造・発表事業

札幌独自の舞台芸術作品の創造や、地元の舞台芸術創作活動を普及するための事業を行う。

①教文演劇フェスティバル2022

地元演劇関係者との協力により、全国各地の劇団が集い、優勝を競う教文短編演劇祭を中心に、札幌の演劇シーンの活性化に努める。

期 日：令和4年9月17日(土)、18日(日)

会 場：大ホール

主 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）、教文演劇フェスティバル事務局

②教文オペラ

市内オペラ団体等と協力し、オペラ公演、コンサート、小学生を対象としたお届けコンサートや親子向けオペラコンサートを開催し、オペラの普及振興を図る。

期 日：令和4年5月～11月(予定)

会 場：大ホール、小ホール

(3)文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業

①能楽鑑賞のひとつとき

札幌の能楽愛好団体による能の発表会を行う。

期 日：令和4年4月29日(金・祝)

会 場：大ホール（能舞台）

主 催：札幌能楽会

共 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

②人形浄瑠璃2022 さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座公演

道内唯一の人形浄瑠璃を行う団体として、人形浄瑠璃の普及に努めている「あしり座」の公演を行う。

期 日：令和4年8月27日(土)、28日(日)

会 場：小ホール

主 催：さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座

共 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

2 芸術文化の普及振興、育成・支援を行う事業

(1)子どもたちのための文化芸術活動の支援事業

若年層を対象に、舞台芸術との出会いとなるワークショップを開催する。現場に関わるスタッフからの指導を通して舞台芸術の制作を行うことで、将来の舞台芸術の表現者・愛好者を育成する。

①子ども演劇ワークショップ

小・中学生の参加者が、札幌を中心に活動する演劇人の指導によるワークショップを体験しながら舞台作品を創り上げ、会期最終日に成果発表を行う。

期 日：令和4年8月～11月20日(日)

会 場：小ホール、研修室 ほか

演出・指導：納谷真大（ELEVEN NINES）

②小・中学生のための能楽入門

小・中学生向けに能楽体験ワークショップを行い、若年層への伝統芸能の理解と普及につなげる。

期 日：令和4年7月30日(土)、31日(日)

会 場：研修室

講 師：能楽師 小倉健太郎（シテ方宝生流）

協 力：札幌宝生会

③夏休み子ども体験新喜劇

放送作家の砂川一茂を講師に迎え、子ども向け「体験新喜劇」ワークショップを行う。笑いのテクニクや新喜劇の面白さを体験し、最終日にミニ喜劇大会を行う。

期 日：令和4年8月5日(金)～8月7日(日)

会 場：研修室

講 師：砂川一茂（放送作家）

④子どものためのオペレッタワークショップ

子どもの保護者等で構成される「子どものためのオペレッタワークショップ実行委員会」が運営するオペレッタワークショップを側面から支援する。

期 日：令和4年5月～8月20日(土)

会 場：大ホール、リハーサル室 ほか

主 催：子どものためのオペレッタワークショップ実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

(2) 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業

市民を対象としたワークショップとその成果発表を通して、参加者の新しい創造活動と出会いの場を提供する。

①教文13丁目笑劇一座

一般公募の市民によって構成された喜劇団の活動を継続する。団員自ら喜劇を創作・稽古し、市内各所や高齢者施設などで無料ライブやお笑い出張公演を行い、市民が中心となって笑いの輪を広げる活動を行う。

期 日：通年

会 場：リハーサル室 ほか

②高橋竜太ダンスワークショップDAYs in Sapporo

ダンスの魅力を伝え、理解を深める機会の提供を目的とし開催する。引き続き高橋竜太を招きコンテンポラリーダンスワークショップを実施するほか、令和4年度は演出・振付へ裾野を広げたトークイベントを実施する。

期 日：令和4年5月4日(水・祝)、5日(木・祝)

会 場：小ホール

講 師：高橋竜太（振付家、ダンサー）ほか

③子ども演劇ワークショップ(再掲)

(3) 学校教育に係る文化芸術活動の支援事業

舞台芸術活動の将来を担う小・中・高校生の学校教育に係る文化活動を支援し、発表の場を提供するとともに、演劇上演のためのアドバイス、技術指導を行う。

①第39回札幌市小学校児童音楽祭

札幌市の小学校における豊かな音楽活動の発展と児童の音楽を愛好する心情の育成を目的に開催する合唱と器楽の演奏会を支援する。

期 日：令和4年12月10日(土)

会 場：大ホール

主 催：北海道音楽教育連盟札幌市小学校支部、札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

協 賛：一般財団法人札幌市教育協会

後 援：札幌市教育委員会、札幌市小学校長会、北海道音楽教育連盟

②第74回札幌市中学校音楽会

音楽活動の将来を担う中学生の育成を目的とした演奏会を支援する。各地区から選抜された出演校が、合唱、吹奏楽などの分野に分かれて日頃の成果を発表する。

期 日：令和4年10月23日(日)

会 場：大ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市中学校長会

共 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）、札幌市教育委員会

後 援：札幌市中学校吹奏楽研究協議会、札幌市合唱教育研究会 ほか

③第68回高文連石狩支部演奏会

他校生徒との交流を深め、技術の向上を目指して開催する演奏会を支援する。高文連石狩支部加盟の合唱・吹奏楽・器楽管弦楽・日本音楽の4部門の参加校が日頃の成果を発表するほか、合唱、吹奏楽部門でそれぞれ合同演奏を行う。審査により全道大会出場校を推薦する。

期 日：令和4年6月23日(木)、24日(金)

会 場：大ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部

共 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

④中文連演劇ワークショップ2022

札幌市内中学校の演劇部員を対象に、演劇についての知識や表現力を磨く演劇ワークショップの開催を支援する。

期 日：令和4年5月14日(土)

会 場：小ホール

主 催：札幌市中文連演劇専門委員会、札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市中学校長会、札幌市PTA協議会、一般財団法人北海道教育文化協会

講 師：札幌市内中学校教諭 ほか

⑤第37回札幌市中文連演劇発表会

学校教育における芸術・文化活動を奨励する教育普及活動として中文連の演劇発表会を支援する。市内中学校の演劇部が日頃の成果を発表し、最優秀校2校が全道大会に出場する。

期 日：令和4年8月1日(月)～4日(木)

会 場：小ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市教育委員会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市PTA協議会、一般財団法人北海道教育文化協会

⑥第72回高文連石狩支部高校演劇発表大会

高文連石狩支部の加盟各校が参加する演劇発表大会を支援する。最優秀・優秀・優良・努力各賞及び創作脚本奨励賞を選考する。最優秀校は、全道演劇発表大会に出場する。

期 日：令和4年10月2日(日)～10日(月・祝)

会 場：小ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部演劇専門部

共 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

⑦第17回北海道中学生演劇発表大会

北海道内各地区から選出された中学校が、日頃の演劇活動の成果を発表する全道大会を支援する。最優秀1校、優秀2校を選考する。最優秀校は北海道代表として全国大会へ出場する。

期 日：令和4年11月26日(土)、27日(日)

会 場：小ホール

主 催：北海道中学生演劇発表大会実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）、株式会社北海道新聞社 ほか

後 援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道中学校長会、札幌市中学校長会、全国中学校文化連盟 ほか

(4) 将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業

①公立文化施設等とのネットワーク

- ・公立文化施設との情報の交換、収集を行い、事業に反映させる。
- ・一般財団法人地域創造、文化庁等を通して情報収集を行う。
- ・札幌市内9劇場による「札幌劇場連絡会」間での情報交換を行い、札幌市が主催する「札幌アートステージ」の舞台芸術部門に参加する。

②実演家など専門家との交流やメディアの活用

- ・主催事業を通して長年培われた芸術文化団体、アーティストなどとの交流により、各分野の情報を収集し、事業企画に反映させる。
- ・地元マスコミも含め、メディアを通して最新情報の収集に努め、国内外の実情を把握する。

③アンケートの実施

主催事業の参加者、来場者に対しアンケートを実施し、催しに対する満足度を調査するとともに ニーズを把握し、企画に反映させる。

3 札幌市民芸術祭

音楽、演劇、舞踊、美術、文芸など幅広い分野における市民の創造・発表活動を積極的に推進し、札幌市の文化芸術活動の振興を図ることを目的に、年間10事業を実施する。優れた作品発表に対して札幌市民芸術祭大賞、札幌市民芸術祭奨励賞を贈呈。札幌市長が委嘱する市内の芸術・文化関係者100名以上による10部会で実行委員会を構成し、教育文化会館事業部に事務局を置く。

主 催：札幌市民芸術祭実行委員会、札幌市、札幌市芸術文化財団

①札幌市民劇場

札幌を拠点に、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能などの舞台芸術活動を行う個人または団体の公演やワークショップ事業の企画を公募し、「札幌市民劇場」として年間を通し開催する。企画採用団体には、助成金の交付、広報協力などを行い、市民の芸術活動を支援する。

期 日：通年

会 場：札幌市内各会場

②マンドリン音楽祭

札幌市内で活動するマンドリン団体が会し、日頃の成果を披露する演奏会を開催する。独奏・重奏の部、学生団体合同合奏の部、学生団体・社会人団体合同合奏の部の3部構成でプログラムを展開する。開演前のプレコンサートや楽器展示も行い、マンドリンの魅力を市民に紹介する。

期 日：令和4年5月29日(日)

会 場：大ホール

③ギター音楽祭

オーディションにより選抜されたクラシックギタリストが競演する演奏会を開催する。独奏、重奏、合奏の3部門で、小学生から一般まで幅広い年齢の市民が参加する。来場者の関心を高めるため、ゲストによる演奏や開演前のプレコンサートを併せて行う。

期 日：オーディション 令和4年7月10日(日)

演奏会 令和4年9月4日(日)

会 場：大ホール

④市民合唱祭

「秋の合唱祭」として親しまれ、毎年120団体以上、約3,000人の出演者が集う演奏会を開催する。第1部を一般・職場・学生などのグループ、第2部をPTAなどのグループとして2日間開催する。

期 日：第2部 令和4年10月15日(土)

第1部 令和4年10月16日(日)

会 場：大ホール

⑤さっぽろ市民文芸

随筆、小説、詩、評論、短歌、俳句、川柳、児童文学、戯曲・脚本の9部門を対象に市民の文芸作品を公募し、総合文芸誌「さっぽろ市民文芸」として刊行する。併せて、優秀作品の表彰や記念講演のほか、作品選考委員と参加者が交流を深める「さっぽろ市民文芸の集い」を開催する。

期 日：「さっぽろ市民文芸」第39号刊行 令和4年10月下旬

さっぽろ市民文芸の集い 令和4年11月26日(土)

会 場：各研修室（さっぽろ市民文芸の集い）

⑥新人音楽会

札幌市を中心に音楽活動を行い、活躍が期待される若手のクラシック音楽家を対象に、ピアノ、声楽、管弦打楽器、作曲の4部門でオーディションを行い、選抜者による演奏会を開催する。また、来場者投票によるオーディエンス賞を授与する。

期 日：オーディション 令和4年9月13日(火)～15日(木)（うち2日間）

演奏会 令和4年11月3日(木・祝)

会 場：大ホール

⑦邦楽演奏会

札幌市を中心に活動する邦楽演奏家による三曲（箏、三絃、尺八）の独奏、合奏の演奏会を開催する。出演者はオーディションにより決定する。

期 日：オーディション 令和4年8月7日(日)

演奏会 令和4年11月13日(日)

会 場：小ホール

⑧市民美術・書道展

市民による美術（油彩画、水彩画、日本画、版画、その他）と書道（漢字、かな、近代詩文書、墨象、篆刻、刻字）作品の公募展を開催する。会期最終日に、表彰式と作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和4年10月19日(水)～23日(日)5日間

会 場：札幌市民ギャラリー 各展示室

⑨札幌市民吹奏楽祭

市内の小学校、中学校、高校、大学、職場・一般の吹奏楽団体が会し、日頃の成果を発表するとともに吹奏楽の魅力を紹介する演奏会を開催する。演奏を通じ約70団体が幅広く交流する。

期 日：令和5年1月21日(土)、22日(日)2日間

会 場：札幌コンサートホールKitara 大ホール

⑩市民写真展

市民が撮影した作品を公募し、写真の多様な世界を紹介する展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和5年2月18日(土)～23日(木・祝)6日間

会 場：札幌市民交流プラザ SCARTS コート

4 広報活動

①ホームページ活用による広報

ホームページを活用して、施設利用、主催事業に関する情報提供を行う。紙媒体の情報誌と連動するなど内容を工夫するとともに、施設の仮予約、事業参加申し込みや、各種問い合わせに対応するなど、Webによるサービス向上を図る。

②情報誌の編集、発行

「人と芸術と社会をつなぐ」をコンセプトに、地域と人をクローズアップした情報誌「楽」を編集するとともに、舞台芸術及び関連分野における内容を特集する「act」を発行する。

情報誌「楽」（A4版冊子、年3回発行）「act」（変形サイズリーフレット、年3回発行）。

③メディアを通じた情報提供及び広告等

新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット媒体など様々なメディアへの情報提供を行い、施設や事業について市民に広報するほか、マスコミ各社と事業提携を図り、主催事業の告知を新聞、テレビ等を活用しPRする。

④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による広報及び販売促進

チラシ配布、ポスターの掲出、各事業部「友の会」会員へのダイレクトメール送付・チケット優待などを継続し、相互の広報・販売促進に取り組む。

⑤案内、プレイガイド、物販

教育文化会館1階ロビーのプレイガイドにおいて、館内施設や催しの案内業務を行うとともに、主催事業や市内の各種舞台公演のチケットを販売し、市民サービスの向上を図る。

⑥教文☆ナビ

教育文化会館に対する市民の関心や親しみを喚起することを目的とし、施設の機能を活用した体験型事業を実施する。

5 市民ギャラリー事業

①市民ギャラリー美術映画会

大画面による迫力ある映像を通じて多様で魅力的な美術作品を鑑賞する場および芸術情報を提供し、気軽にアートに触れる環境を創出する。1984年から毎年継続しており、恒例事業として広く市民に親しまれている。

期 日：年8回開催予定

会 場：展示室

②オルガンコンサート

新規

札幌コンサートホールKitara専属オルガニストと、Kitara所有のポジティブ・オルガンによるコンサートを開催する。

期 日：令和4年4月16日(土)

会 場：第1展示室

③市民ギャラリー手づくり作品市場

美術・工芸・手芸など様々なジャンルのアート作品を発表・販売する場を、天候に左右されない屋内で提供。例年、多くの集客が見込める展覧会に合わせて開催しており、地域の街づくり、交流に寄与している。

期 日：令和4年5月14日(土)

会 場：1階ロビー

④市民ギャラリーワークショップ

市民ギャラリーで展覧会を主催する団体と協力し、子どもや初心者でも気軽に参加できる工芸等の講習会を開催するほか、ギャラリーにちなみ「お絵かき」をテーマとした独自のワークショップを実施し、子どもたちの参加を促進する。

期 日：陶芸体験教室 令和4年7月8日(金)、9日(土)

夏休みお絵かきワークショップ 令和4年8月14日(日)

七宝体験教室 令和4年8月27日(土)、28日(日)

会 場：展示室

⑤カルチャーナイト2022

札幌市全域で公共施設や文化施設などを夜間開放して市民が地域の文化を楽しむ「カルチャーナイト」に参加し、市民ギャラリーならではの趣向を凝らして実施する。

期 日：令和4年7月22日(金)

会 場：予備展示室他、動画共有サイトYouTube

⑥教文13丁目笑劇一座出張公演

市民参加型喜劇事業である教文13丁目笑劇一座の出張公演を開催する。公募で集まった出演者が稽古を重ね、その成果を教育文化会館小ホールのほか、高齢者施設等市内各所で発表しており、2010年より施設間連携事業として市民ギャラリーにおいても開催し、地域に笑いを届けている。

期 日：調整中

会 場：展示室

⑦市民ギャラリー子ども映画会

子どもたちがアートに興味を持つ契機となるような芸術性の高いアニメーションを、家族連れや子どもの来館者が多い夏休みや春休み期間中に上映する。また、子どもの書道作品を展示する展覧会に合わせ、ロビーでミニ上映会を開催する。

期 日：夏休み子ども映画会 令和4年8月14日(日)

春休み子ども映画会 令和5年3月25日(土)

会 場：展示室

※ロビーでのミニ上映会は令和5年3月17日(金)、18日(土)、19日(日)

⑧市民ギャラリーオータムコンサート

札幌市民芸術祭「新人音楽会」にて大賞や奨励賞などを受賞した若手アーティストの演奏により、美術作品に囲まれながら音楽を楽しむ機会を提供するとともに、市民と地元アーティストとの交流や生演奏の魅力などを幅広く市民に紹介する。

期 日：令和4年10月22日(土)

会 場：第1展示室

⑨札幌市中学校美術・書道展

学校教育に対する協力事業として、中学校での授業・部活動において制作した美術書道作品を展示し、美術書道教育の振興に寄与する。

期 日：令和4年10月25日(火)～30日(日)

会 場：第1～2展示室、第4～5展示室、展示ホール1～2

主 催：札幌市中学校文化連盟

共 催：札幌市民ギャラリー（札幌市芸術文化財団）

⑩中央区東地区連合町内会コンサート

地域住民の交流とまちづくり活動の理解促進を目的に、地元町内会との連携事業として、親子で楽しめるコンサートを開催予定。

期 日：調整中

会 場：展示室

主 催：東地区連合町内会

共 催：札幌市民ギャラリー（札幌市芸術文化財団）

⑪札幌圏大学生合同写真展

写真ライブラリー閉館（平成22年1月）後からの継続事業。写真文化の振興と普及のため、札幌近郊の各大学写真部による写真展を開催する。

期 日：令和5年3月

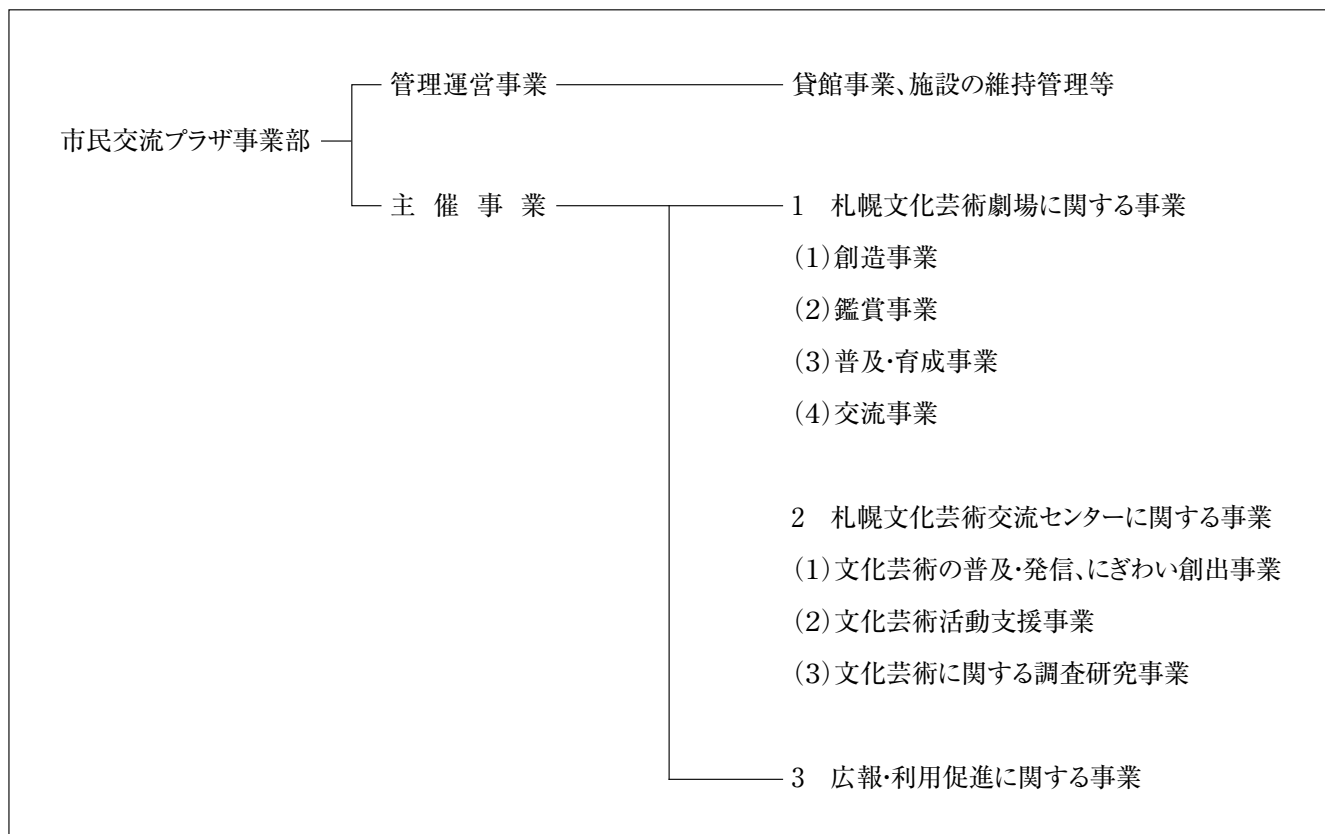
会 場：展示室

主 催：札幌圏大学生合同写真展EX

共 催：札幌市民ギャラリー（札幌市芸術文化財団）

IV. 市民交流プラザ事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		令和2年度 実績	令和3年度 見込	令和4年度 目標	
利 用 状 況	札幌文化芸術劇場	劇場 利用率	58.4%	79.9%	80.0%
		クリエイティブスタジオ 利用率	53.5%	71.2%	75.0%
		練習室等 利用率	51.8%	59.1%	60.0%
	札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等) 利用率		65.4%	63.6%	75.0%
	総来館者数(札幌市図書・情報館含む)		630,647人	709,899人	1,200,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～5月31日は全館貸出休止、令和3年5月9日～7月11日、8月2日～9月30日は新規予約受付停止。

【参考】

令和元年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール (1,000 席以上) : 56.5% 小ホール (500 席未満) : 57.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和2年度公立文化施設の運営情報調査報告」)

3. 主催事業

1 札幌文化芸術劇場に関する事業

(1) 創造事業

① hitaruオペラプロジェクト モーツァルト『フィガロの結婚』

新規

地元のオペラ団体、アーティスト、スタッフ、教育機関などと総力を結集し、2年に1回のペースで hitaru のオペラ公演を創造・発信していく「hitaruオペラプロジェクト」の第1回を開催する。

期 日：令和5年2月26日(日)、28日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場

指 揮：奥村哲也

演 出：三浦安浩

出 演：大塚博章（フィガロ）、札幌交響楽団（管弦楽）ほか

演 目：モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』（全4幕／原語上演／日本語字幕付）

② hitaruバレエプロジェクト

地元のバレエ団体、ダンサー、スタッフ、教育機関などと総力を結集し、2年に1回のペースで hitaru のバレエ公演を創造・発信していく「hitaruバレエプロジェクト」第1回の準備を行う。本公演は令和5年度に開催する。

期 日：通年

③ Creative Art Mix～Re:born～

様々な分野の融合による相乗効果で舞台芸術鑑賞者の裾野を広げることを目的に、クラシック等の名曲に斬新なアレンジを行った新感覚の音楽と、舞踏、バレエ、ストリートダンス等を融合したステージを創造・発表する。出演者やスタッフは地元から起用し、札幌独自の新しい表現を追求する。

期 日：令和5年3月11日(土)、12日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：振付・ダンス：ダンススタジオマインド、鈴木明倫

編曲・サクソ：小野健悟 ほか

(2) 鑑賞事業

① 山海塾「降りくるもののなかで -とばり」

新規

1975年の創設以来、国内のみならず、ヨーロッパ、北米、中南米、アジア、オセアニアなど、世界45カ国のべ700都市以上で上演し国際的評価の高い舞踏カンパニー山海塾を招聘する。同カンパニーの札幌公演は28年ぶりとなる。

期 日：令和4年9月24日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

演出・振付：天児牛大（あまがつ うしお）

出 演：山海塾

演 目：「降りくるもののなかで -とばり」（北海道初演）

②Kバレエカンパニー

Kバレエカンパニー「シンデレラ」に引き続き令和4年度も共催により同カンパニーを招聘する。北海道新聞社創立80周年 UHB開局50周年記念公演として開催。hitaruの機能を最大限に活用したトップクラスの実演芸術の鑑賞機会を提供する。

期 日：令和4年11月7日(月) (公演回数1～2回予定)

会 場：札幌文化芸術劇場

演出・振付：熊川哲也

出 演：Kバレエカンパニー ほか

演 目：クレオパトラ

主 催：株式会社北海道新聞社、北海道文化放送株式会社、株式会社道新文化事業社、札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団) ほか

③hitaruのひととき

市内中心部の地下鉄直結という優れた立地条件を活用するとともに、料金設定をおさえ、より親しみやすい選曲を多様なテーマ・キャスティングにより実施する公演事業。これまで実演芸術に親しむ機会が少なかった市民にも気軽に鑑賞していただき、幅広い市民に札幌文化芸術劇場 hitaruの魅力を知っていたくことを目的とする。

1)～魅惑のミュージカルナイト～

～姿月あさと 35th Anniversary Festival～

劇場への来場者の裾野の拡大を主たる目的に、ミュージカルの楽曲にフィーチャーしたプログラム内容でコンサートを実施する。人気ミュージカル公演に頻繁に起用される宝塚歌劇団出身者の卓越したパフォーマンスに着目し、同カンパニーの元トップスターによる歌謡コンサートをセルフプロデュースにより実施し、ミュージカルの魅力、宝塚の魅力幅広く紹介する。

期 日：令和4年5月18日(水)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：姿月あさと、風花舞、宮崎誠 ほか

2)～尾高忠明 presents 偉大なる英国の巨匠たち～

BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団首席指揮者としてのキャリアのほか、ロンドン響、ロンドンフィル、BBC響への客演、ロンドン・プロムスへの出演、エルガー・メダルの受章等、英国にゆかりの深い尾高忠明がhitaruのために選曲したオール・英国プログラムを札幌交響楽団とともに演奏する。

期 日：令和4年6月18日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：尾高忠明 (指揮)、札幌交響楽団 (管弦楽)

3)声優朗読劇 ^{フォアレーゼン} VORLESEN ～フィガロの結婚～

hitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』関連事業

hitaruオペラプロジェクトの関連事業として、オペラ来場者の裾野の拡大をはかるため、『フィガロの結婚』とその作曲者モーツァルトについて、人気声優による朗読劇で紹介する。計2公演を行う。台本は本公演のために新たに作成。hitaruが所有するチェンバロの生演奏も合わせて楽しめる機会とする。

期 日：令和4年11月20日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：声優3名 (朗読)、中野振一郎 (チェンバロ)

④共催事業の誘致

1) 第3回さっぽろ落語まつり

落語家・三遊亭円楽がプロデュースし福岡・博多で成功を収めている札幌版落語まつりの3回目。約20名の落語家が出演し、札幌文化芸術劇場 hitaru、共済ホールで3日間、計9公演行う。

期 日：令和4年5月27日(金)、28日(土)、29日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 共済ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、株式会社北海道新聞Hot Media、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

協 力：オフィスまめかな

2) 舞台「千と千尋の神隠し」

新規

宮崎駿原作のアニメーション映画「千と千尋の神隠し」を世界で初めて舞台化。ジョン・ケアードが翻案と演出を手掛ける。千尋役に橋本環奈・上白石萌音（交互出演）を迎え、全7日間、計10公演上演する。

期 日：令和4年6月6日(月)～12日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社北海道新聞Hot Media、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

3) ミュージカル「ミス・サイゴン」

新規

平成4年の日本初演以来通算上演回数1463回を重ねる大ヒットミュージカルの北海道初演。エンジニア役にミュージカル界の大御所・市村正親（ほか3名と交互出演）、キム役に昆夏美・屋比久知奈（交互出演）を迎え、4日間、計6公演行う。

期 日：令和4年10月7日(金)～10日(月・祝)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社、北海道文化放送株式会社 ほか調整中

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

4) 海外歌手コンサート(調整中)

新規

海外歌手のコンサートを開催する。

期 日：令和4年10月11日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社道新文化事業社 ほか

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

5) 2022 HTBジルベスターコンサート

新規

1997年にスタートした歴史あるコンサートの第25回公演。

期 日：令和4年12月31日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：北海道テレビ放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

(3) 普及・育成事業

① 青少年向けバレエ鑑賞事業

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学校2年生を対象にした、青少年向けバレエ鑑賞事業を引き続き実施。国内外で高い評価を得てきた東京バレエ団による、解説付きプログラムを上演する。

期 日：令和4年7月1日(金)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：チャイコフスキー記念東京バレエ団

演 目：ドン・キホーテより抜粋、ボレロ（モーリス・ベジャール振付）

② hitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』関連事業

演出家 三浦安浩トークイベント

新規

hitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』の見どころや演出家の仕事紹介、作品の魅力を演出家 三浦安浩が語るトークイベントを開催する。トークのほか、本公演に出演する歌手数名によるミニコンサートも合わせて実施する。トークのみYouTubeでも配信を予定している。

期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：三浦安浩、hitaruオペラプロジェクト出演歌手2～3名、ピアニスト

③ 札幌大谷大学アートプログラム

hitaru主催事業の見どころ・聴きどころをわかりやすく解説するレクチャー事業。令和4年度はオペラ『フィガロの結婚』、Kバレエ公演の2事業について開催する予定。

期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：千葉潤（札幌大谷大学 学長）ほか

④ クリエイティブスタジオ活用事業

市内文化芸術団体などと連携し、音楽・舞踊・演劇など様々なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を広く市民に提供し、創造的な文化芸術活動の普及と活性化を促進する。

1) クリエイティブスタジオ シネマシリーズ4

映画監督を招き表現者の視点での鑑賞や批評の重要性を知ることにより、映画鑑賞者の知見向上を図ることを目的として令和2年度から実施している当シリーズを継続し、令和4年度は令和3年度に新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言発令により中止されたシネマシリーズ4の振替を、大九明子監督を招聘し開催する。

期 日：令和4年4月23日(土)

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：大九明子

2) 村川拓也「ムーンライト」

新規

クリエイティブスタジオ活用事業ではこれまで札幌で上演機会の少ない現代演劇を継続的に紹介してきた。令和4年度は、現代演劇の名作の再演出ではなく、今を生きる演出家による、オリジナル戯曲の作品を札幌でのリサーチを元に再構成し上演する。

期 日：令和4年5月28日(土)、29日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

演 出：村川拓也

3) hitaru劇評入門

新規

主催事業（「ムーンライト」「降りくるもののなかで -とぼり」の2事業）実施後、各分野で執筆活動を行う講師を招き劇評についてのレクチャーを行う。舞台鑑賞に関連する語彙を増やし、作品の見方・捉え方を提案する。希望者は後日劇評を提出し、講師のフィードバックを受けることができる。

①期 日：令和4年5月30日(月)

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：佐々木敦（「ムーンライト」についての劇評講座）

②期 日：令和4年9月25日(日)※オンラインでの開催

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：岩城京子（「降りくるもののなかで -とぼり」についての劇評講座）

4) 劇団た組

様々な分野の実演芸術を紹介し、道民・市民の多様な社会的状況やニーズに対応するため、注目の若手脚本家・演出家・監督の加藤拓也（た組）による新作を、公益財団法人北海道文化財団との共催で上演する。

期 日：令和4年10月22日(土)、23日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

演 出：加藤拓也

出 演：劇団た組

主 催：公益財団法人北海道文化財団、札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）

5) 踊り継がれるコンテンポラリーダンスの名作を踊ろう／

ローザス ヴァイオリン フェーズ
Rosas「Violin Phase」

新規

舞踊経験者を対象とするコンテンポラリーダンスのワークショップを実施し、道内出身の振付家の養成に取り組む。当該分野の代表的なカンパニーとして世界的に広く影響を与えてきたRosasに在籍する橋本唯香を講師に迎え、振付の基礎を学び作品制作を体験する機会を提供する。

期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：橋本唯香（ダンスカンパニーRosas所属ダンサー）

(4) 交流事業

① プラザフェスティバル

様々な客層が足を運びやすい環境の提供と多様な交流を促進することを目的として、開館記念日である10月7日に近接する週末に実施する。ミュージカル「ミス・サイゴン」、「プラザ映像祭」のほか、MORIHICO.とも連携し、全館を挙げて市民を迎えるプログラムを実施する。

期 日：令和4年10月7日(金)～10日(月・祝)

会 場：館内各所

2 札幌文化芸術交流センターに関する事業

(1) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

① SCARTSクリエイションプロジェクト(仮称)

新規

これまで様々な展覧会や実演芸術鑑賞事業などを企画してきたノウハウを活かしてテーマを設定し、アーティストやクリエイター、専門家などとの協働により、展覧会や実演芸術鑑賞事業などを手掛けていく。令和4年度は次年度に向けたリサーチやイベントを実施。なお、当該事業枠の中で、プラザフェスティバルにおけるにぎわい創出のためのイベントも企画していく。

期 日：調整中

会 場：SCARTSコート ほか

② SCARTSメディアアーツシリーズ(仮称)

新規

ユネスコ創造都市ネットワーク・メディアアーツ分野の加盟都市「札幌」に寄与する取組として、これまでも「++A&T (プラプラット)」や「Sapporo Winter Change」などの事業により、「メディア」や「テクノロジー」に触れてもらう機会を創出してきたが、そのような実験的な試みをパッケージ化して実施する。本事業の実施に際しては、これまで連携してきたSIAF（札幌国際芸術祭実行委員会）やCoSTEP（北海道大学 高等教育推進機構）などとも引き続き緊密に協力関係を持ちながら、展覧会やワークショップなどを企画していく。

期 日：通年

会 場：SCARTSコート ほか

③ SCARTS連携事業(仮称)

様々な興味・関心を持つ市民に文化芸術関連プログラムに親しんでいただく機会を提供することを目的に、札幌文化芸術劇場や札幌市図書・情報館、財団他事業部・施設、公的機関が実施する他事業などと連携して、多様な事業を展開する。SCARTS各施設において市内外の特徴的な他事業を都心で実施することを通して、施設や地域ににぎわいを創出する。併せて当該連携事業枠の中で、道内大学との連携コンサートも引き続き実施する。

期 日：通年

会 場：SCARTSコート ほか

④ SCARTSパブリックリレーションズ(仮称)

新規

あらゆる人々にとってSCARTSが身近な存在となるように、SCARTSウェブやSNS、SCARTSレポートなどの様々な媒体を活用して、SCARTSに関する情報発信をしていく。また、これまで別事業であった西2丁目地下歩道における映像制作プロジェクトについても、市民交流プラザやSCARTSをPRするための機能の一つとして展開していく。

期 日：通年

会 場：西2丁目地下歩道 ほか

(2)文化芸術活動支援事業

①SCARTSサポート事業(仮称)

新規

インフォメーションカウンターや相談サービス、貸館サポート、レクチャーシリーズ、アートコミュニケーション事業、公募企画事業、助成金交付事業などの文化芸術活動を行う方々を支える事業を引き続き実施する。また、各事業の意義や成果を多くの市民と共有するため、事業実施の際に生じた課題などについては、レクチャーのテーマとしても取り上げていく。なお、調査研究事業についても、他都市の先進的な事例や学術的な研究成果などが、シンポジウムや公開講座などの開かれた形で示されることで、活動支援にも資するという観点から、サポート事業の一環として展開する。

期 日：通年

会 場：SCARTSコート ほか

(3)文化芸術に関する調査研究事業

上記(2)①参照

3 広報・利用促進に関する事業

(1)広報

①広報誌作成と事業広報との連携強化

市民交流プラザへの理解と支持を得るため、情報誌「WAVE TIMES」を発行し市民交流プラザの取り組みを広く周知する。また、劇場事業課、センター事業課および札幌市図書・情報館と連携しながら、主催事業等について市民交流プラザを一体的に広報する。さらにプラザスケジュール「PLAS」を発行することで、市民交流プラザで行われる催しを市民に周知する。

期 日：通年

②ホームページ、SNSなどを活用した広報

ホームページ、SNSなどを通じて、即時性のあるトピック、広報誌やチラシだけでは伝わりづらい公演や事業の詳細な情報の発信を行う。また、外部業者との連携も図りながら公演などのチケット販売サイトへの誘導を行う。

期 日：通年

③メディア対応とプレスリリース

市民交流プラザについての取材依頼、パブリシティ(無料)掲載などに対応し市民交流プラザの認知度を高めるとともに、市民交流プラザ全体で行われる事業や共催事業などのプレスリリースを行い周知やチケット販売促進につなげる。

期 日：通年

④その他の広報

市民交流プラザ周辺の賑わい創出を目的として、周辺飲食店などを紹介する「創成おさんぽMAP」や「ホテルインフォメーション」、控室や練習室などの貸室利用促進のための広報物などを作成する。加えて、市民交流プラザをより周知するための広報施策も展開していく。

期 日：通年

(2) 利用促進

① 施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、「ご存知ですか?プラザの貸室いろいろ」を作成・配布して会議や練習での利用を促す。また、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致に向けた取り組みを進める。

期 日：通年

② 会員制度の運営

会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」のさらなる周知を図り、継続会員の確保と新規会員の獲得に努める。また、会員へのサービス提供として、主催・共催公演の先行発売をはじめ、主催公演のリハーサルなどを見学することができるイベントなどの実施、近隣ホテルや飲食店での優待などを行い安定的な制度運営を行う。

期 日：通年

③ 協賛制度の運営

「札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー」制度のさらなる周知を進め、既存の法人・個人スポンサーの継続確保と、新規スポンサーの獲得に努める。

期 日：通年

2 芸術文化を推進するための付帯事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 駐車場の管理運営

札幌市郊外にある芸術の森では、施設利用者の便宜を図るため、駐車場の管理運営業務を行う。

利用状況	芸術の森		令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度目標
	駐車場	利用台数	60,293台	41,000台	60,000台

2 各種の活動及び発表の場の提供

教育文化会館と市民交流プラザは、財団主催事業や芸術文化のための利用等公益目的事業に関する利用に供する以外にも、学術会議や講演会のための利用等多様な活動の場としても施設の提供を行っていく。

3 その他公益目的事業の推進に資する事業

レストランの委託経営やグッズの販売、自動販売機の設置により施設利用者へのサービスの向上に努める。